

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第1編 共通編 第1章 総則

ページ	現行	改訂
1-6	<p>1-1-7 CORINSへの登録</p> <p>1. 請負者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報システム（CORINS）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。</p> <p>また、（財）日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。</p>	<p>1-1-7 CORINSへの登録</p> <p>1. 請負者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報システム（CORINS）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完成時は工事完成後<u>土曜日、日曜日、祝日等を除き</u>10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。</p> <p>また、（財）日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が<u>土曜日、日曜日、祝日等を除き</u>10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。</p>
1-30	<p>1-1-34 工事中の安全確保</p> <p>1. 請負者は、「土木工事安全施工技術指針（国土交通大臣官房技術審議官通達 <u>平成13年3月29日</u>）」、「建築工事安全施工技術指針（建設大臣官房官庁営繕部監督課長平成7年5月25日）」及び「土木工事等施工技術安全指針（農林水産省構造改善局建設部長平成6年11月1日）」、「建設機械施工安全技術指針（建設省建設経済局建設機械課長平成6年11月1日、最終改正国土交通大臣官房技術調査課長・総合政策局建設施工企画課長平成17年3月31日）」、「港湾工事安全施工指針（社）日本埋立浚渫協会」、「潜水作業安全施工指針（社）日本潜水協会」、「作業船団安全運行指針（社）日本海上起重技術協会」、JIS A 8972（斜面・法面工事用仮設設備）を参考にして、常に工事の安全に留意し現場管理を行い災害の防止を図らなければならない。</p>	<p>1-1-34 工事中の安全確保</p> <p>1. 請負者は、「土木工事安全施工技術指針（国土交通大臣官房技術審議官通達 <u>平成21年3月31日</u>）」、「建築工事安全施工技術指針（建設大臣官房官庁営繕部監督課長平成7年5月25日）」及び「土木工事等施工技術安全指針（農林水産省構造改善局建設部長平成6年11月1日）」、「建設機械施工安全技術指針（建設省建設経済局建設機械課長平成6年11月1日、最終改正国土交通大臣官房技術調査課長・総合政策局建設施工企画課長平成17年3月31日）」、「港湾工事安全施工指針（社）日本埋立浚渫協会」、「潜水作業安全施工指針（社）日本潜水協会」、「作業船団安全運行指針（社）日本海上起重技術協会」、JIS A 8972（斜面・法面工事用仮設設備）を参考にして、常に工事の安全に留意し現場管理を行い災害の防止を図らなければならない。</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第1編 共通編 第2章 材料

ページ	現行	改訂
1-49	<p>第2節 工事材料の品質及び検査（確認を含む）</p> <p>注：アスファルト混合物事前審査制度により、事前に<u>（財）道路保全技術センター等の第三者機関が審査・認定することにより</u>、従来の工事毎・混合物毎に実施していた次に示す基準試験（配合設計含む）や試験練り等が省略できるものとする。</p>	<p>第2節 工事材料の品質及び検査（確認を含む）</p> <p>注：アスファルト混合物事前審査制度により、事前に<u>アスファルト混合物事前審査協議会が認定することにより</u>、従来の工事毎・混合物毎に実施していた次に示す基準試験（配合設計含む）や試験練り等が省略できるものとする。</p>
1-66	<p>2-7-7 溶接材料</p> <p>溶接材料は、次の規格に適合するものとする。</p> <p>J I S Z 3201（軟鋼用ガス溶接棒） 記号 GA、GB</p> <p>J I S Z 3211（軟鋼鋼用被覆アーク溶接棒） 記号 D</p> <p><u>J I S Z 3211（高張力鋼用被覆アーク溶接棒） 記号 D</u></p> <p>J I S Z 3214（耐候性鋼用被覆アーク溶接棒） 記号 DA</p> <p>（以下省略）</p>	<p>2-7-7 溶接材料</p> <p>溶接材料は、次の規格に適合するものとする。</p> <p>J I S Z 3201（軟鋼用ガス溶接棒） 記号 GA、GB</p> <p>J I S Z 3211（軟鋼、<u>高張力鋼及び低温用</u>鋼用被覆アーク溶接棒） 記号 D</p> <p><u>（削除）</u></p> <p>J I S Z 3214（耐候性鋼用被覆アーク溶接棒） 記号 DA</p> <p>（以下省略）</p>
1-83 ～ 1-84	<p>2-13-1 一般事項</p> <p>4. 請負者は、道路標識の支柱のさび止め塗料もしくは、下塗塗料については、次の規格に適合したものとする。</p> <p>J I S K 5621（一般用さび止めペイント）</p> <p><u>J I S K 5622（鉛丹さび止めペイント）</u></p> <p>J I S K 5623（亜酸化鉛さび止めペイント）</p> <p><u>J I S K 5624（塩基性クロム酸鉛さび止めペイント）</u></p> <p>J I S K 5625（シアナミド鉛さび止めペイント）</p> <p><u>J I S K 5627（ジंकクロメートさび止めペイント）</u></p> <p><u>J I S K 5628（鉛丹ジंकクロメートさび止めペイント）</u></p> <p>J I S K 5674（鉛・クロムフリーさび止めペイント）</p>	<p>2-13-1 一般事項</p> <p>4. 請負者は、道路標識の支柱のさび止め塗料もしくは、下塗塗料については、次の規格に適合したものとする。</p> <p>J I S K 5621（一般用さび止めペイント）</p> <p><u>（削除）</u></p> <p>J I S K 5623（亜酸化鉛さび止めペイント）</p> <p><u>（削除）</u></p> <p>J I S K 5625（シアナミド鉛さび止めペイント）</p> <p><u>（削除）</u></p> <p><u>（削除）</u></p> <p>J I S K 5674（鉛・クロムフリーさび止めペイント）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂
 第1編 共通編 第2章 材料

ページ	現行	改訂
1-84	<p>2-14-1 道路標識</p> <p>標識板、支柱、補強材、取付金具、反射シートの品質は、次の規格に適合するものとする。</p> <p>(1) 標識板</p> <p>J I S G 3131 (熱間圧延軟鋼板及び鋼帯)</p> <p>J I S G 3141 (冷間圧延鋼板及び鋼帯)</p> <p>J I S K 6744 (ポリ塩化ビニル被覆金属板)</p> <p>J I S H 4000 (アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条)</p> <p>J I S K 6718 (プラスチック - メタクリル樹脂板)</p> <p>ガラス繊維強化プラスチック板 (F . R . P)</p>	<p>2-14-1 道路標識</p> <p>標識板、支柱、補強材、取付金具、反射シートの品質は、次の規格に適合するものとする。</p> <p>(1) 標識板</p> <p>J I S G 3131 (熱間圧延軟鋼板及び鋼帯)</p> <p>J I S G 3141 (冷間圧延鋼板及び鋼帯)</p> <p>J I S K 6744 (ポリ塩化ビニル被覆金属板)</p> <p>J I S H 4000 (アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条)</p> <p><u>J I S K 6718-1 (プラスチック - メタクリル樹脂板 - タイプ、寸法及び特性 - 第1部：キャスト板)</u></p> <p><u>J I S K 6718-2 (プラスチック - メタクリル樹脂板 - タイプ、寸法及び特性 - 第2部：押出板)</u></p> <p>ガラス繊維強化プラスチック板 (F . R . P)</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第1編 共通編 第3章 一般施工

ページ	現行	改訂
1-92 ～ 1-93	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、次の基準類によらなければならない。</p> <p>なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、次の基準類によらなければならない。</p> <p>なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p>
	<p>日本道路協会 道路橋示方書（共通編・鋼橋編）・同解説（平成14年3月）（省略）</p> <p>日本道路協会 舗装調査・試験法便覧（平成19年9月）（省略）</p> <p>建設省 仮締切堤設置基準（案）（平成10年6月）</p> <p>環境庁 水質汚濁に係わる環境基準（昭和46年12月）（省略）</p> <p>日本道路協会 道路土工 軟弱地盤対策工指針（昭和61年11月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 施工指針（昭和61年11月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 のり面工・斜面安定工指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 擁壁工指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 カルバート工指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 仮設構造物工指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 排水工指針（昭和62年6月）</p> <p>日本道路協会 舗装再生便覧（平成16年2月）（省略）</p> <p>国土交通省 土木構造物設計マニュアル（案）[樋門編]（平成13年12月）</p> <p>国土交通省 土木構造物設計マニュアル（案）に係わる設計・施工の手引き（案）（平成13年12月）</p> <p>（以下省略）</p>	<p>日本道路協会 道路橋示方書（共通編・鋼橋編）・同解説（平成14年3月）（省略）</p> <p>日本道路協会 舗装調査・試験法便覧（平成19年6月）（省略）</p> <p>国土交通省 仮締切堤設置基準（案）（平成22年6月）</p> <p>環境庁 水質汚濁に係わる環境基準（平成15年11月）【省略】</p> <p>日本道路協会 道路土工 軟弱地盤対策工指針（平成19年6月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 要綱（平成21年6月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 切土工・斜面安定工指針（平成21年6月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 擁壁工指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 カルバート工指針（平成22年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 仮設構造物工指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 盛土工指針（平成22年4月）</p> <p>日本道路協会 舗装再生便覧（平成22年12月）（省略）</p> <p>国土交通省 土木構造物設計マニュアル（案）[樋門編]（平成14年1月）</p> <p>国土交通省 土木構造物設計マニュアル（案）に係わる設計・施工の手引き（案）（平成14年1月）</p> <p>（以下省略）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第1編 共通編 第3章 一般施工

ページ	現行	改訂
1-98	<p>3-3-5 法枠工</p> <p>8 . 請負者は、プレキャスト法枠の設置にあたり、枠をかみ合わせ、滑動しないように積み上げなければならない。また、枠の支点部分に滑り止め用アンカー<u>ピン</u>を用いる場合は、滑り止めアンカー<u>ピン</u>と枠が連結するよう施工しなければならない。</p>	<p>3-3-5 法枠工</p> <p>8 . 請負者は、プレキャスト法枠の設置にあたり、枠をかみ合わせ、滑動しないように積み上げなければならない。また、枠の支点部分に滑り止め用アンカー<u>バー</u>を用いる場合は、滑り止めアンカー<u>バー</u>と枠が連結するよう施工しなければならない。</p>
1-101	<p>3-3-7 植生工</p> <p>1 . 種子散布工は、<u>ポンプを用いて基盤材（木質繊維ファイバー）</u>等を厚さ1cm未満に散布するものとする。客土吹付工は、<u>ポンプまたはモルタルガンを用いて客土（黒ボク等）</u>を厚さ1～3cmに吹付けるものとする。植生基材吹付工は、ポンプまたはモルタルガンを用いて植生基材（土、木質繊維等）または有機基材（バーク堆肥、ピートモス等）等を厚さ<u>1</u>～10cmに吹付けるものとする。</p>	<p>3-3-7 植生工</p> <p>1 . 種子散布工は、<u>主にトラック搭載型のハイドロシーダーと呼ばれる吹付機械を使用して、多量の用水を加えた低粘度スラリー状の材料</u>を厚さ1cm未満に散布するものとする。客土吹付工は、<u>主にポンプを用いて高粘度スラリー状の材料</u>を厚さ1～3cmに吹付けるものとする。植生基材吹付工は、ポンプまたはモルタルガンを用いて植生基材（土、木質繊維等）または有機基材（バーク堆肥、ピートモス等）等を厚さ<u>3</u>～10cmに吹付けるものとする。</p>
1-126	<p>3-6-4 プレキャストカルバート工（道路等）</p> <p>3 . 請負者は、プレキャストボックスカルバートの縦締め施工については、道路土工 - カルバート工指針 <u>4-2-2（2）</u>敷設工の規定によらなければならない。これ以外の施工方法による場合は、施工前に設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。</p>	<p>3-6-4 プレキャストカルバート工（道路等）</p> <p>3 . 請負者は、プレキャストボックスカルバートの縦締め施工については、道路土工 - カルバート工指針 <u>7-2(2)2）</u>敷設工の規定によらなければならない。これ以外の施工方法による場合は、施工前に設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂
 第1編 共通編 第4章 土工

ページ	現行	改訂
1-171	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、次の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 道路土工 施工指針（<u>昭和61年11月</u>） 日本道路協会 道路土工 要綱（平成<u>2年8月</u>） 日本道路協会 道路土工 軟弱地盤対策工指針（<u>昭和61年11月</u>） 日本道路協会 道路土工 <u>のり面工</u>・斜面安定工指針（平成<u>11年3月</u>）</p> <p>日本道路協会 道路土工 土質調査指針（<u>昭和61年11月</u>） （以下省略）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、次の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 道路土工 施工指針（<u>平成15年4月</u>） 日本道路協会 道路土工 要綱（平成<u>21年6月</u>） 日本道路協会 道路土工 軟弱地盤対策工指針（<u>平成19年6月</u>） 日本道路協会 道路土工 <u>切土工</u>・斜面安定工指針（平成<u>21年6月</u>） <u>日本道路協会 道路土工 盛土工指針（平成22年4月）</u> 日本道路協会 道路土工 土質調査指針（<u>平成11年7月</u>） （以下省略）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂
第1編 共通編 第6章 工場製作工

ページ	現行	改訂																																							
1-225	<p>6-1-3 製作工 (14) ひずみとり 表6-10 ガス炎加熱法等による線状加熱時の鋼材表面温度及び冷却法</p> <table border="1" data-bbox="237 395 1124 609"> <thead> <tr> <th colspan="2">鋼種</th> <th>鋼材表面温度</th> <th>冷却法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">調質鋼(Q)</td> <td>750以下</td> <td>空冷または空冷後600以下で水冷</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">熱加工制御鋼(TMC)</td> <td>Ceq > 0.38</td> <td>900以下</td> <td>空冷または空冷後 <u>600</u> 以下で水冷</td> </tr> <tr> <td>Ceq 0.38</td> <td>900以下</td> <td>加熱直後水冷または空冷</td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他の鋼材</td> <td>900以下</td> <td>赤熱状態からの水冷を避ける</td> </tr> </tbody> </table>	鋼種		鋼材表面温度	冷却法	調質鋼(Q)		750以下	空冷または空冷後600以下で水冷	熱加工制御鋼(TMC)	Ceq > 0.38	900以下	空冷または空冷後 <u>600</u> 以下で水冷	Ceq 0.38	900以下	加熱直後水冷または空冷	その他の鋼材		900以下	赤熱状態からの水冷を避ける	<p>6-1-3 製作工 (14) ひずみとり 表6-10 ガス炎加熱法等による線状加熱時の鋼材表面温度及び冷却法</p> <table border="1" data-bbox="1191 395 2078 609"> <thead> <tr> <th colspan="2">鋼種</th> <th>鋼材表面温度</th> <th>冷却法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">調質鋼(Q)</td> <td>750以下</td> <td>空冷または空冷後600以下で水冷</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">熱加工制御鋼(TMC)</td> <td>Ceq > 0.38</td> <td>900以下</td> <td>空冷または空冷後 <u>500</u> 以下で水冷</td> </tr> <tr> <td>Ceq 0.38</td> <td>900以下</td> <td>加熱直後水冷または空冷</td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他の鋼材</td> <td>900以下</td> <td>赤熱状態からの水冷を避ける</td> </tr> </tbody> </table>	鋼種		鋼材表面温度	冷却法	調質鋼(Q)		750以下	空冷または空冷後600以下で水冷	熱加工制御鋼(TMC)	Ceq > 0.38	900以下	空冷または空冷後 <u>500</u> 以下で水冷	Ceq 0.38	900以下	加熱直後水冷または空冷	その他の鋼材		900以下	赤熱状態からの水冷を避ける	
鋼種		鋼材表面温度	冷却法																																						
調質鋼(Q)		750以下	空冷または空冷後600以下で水冷																																						
熱加工制御鋼(TMC)	Ceq > 0.38	900以下	空冷または空冷後 <u>600</u> 以下で水冷																																						
	Ceq 0.38	900以下	加熱直後水冷または空冷																																						
その他の鋼材		900以下	赤熱状態からの水冷を避ける																																						
鋼種		鋼材表面温度	冷却法																																						
調質鋼(Q)		750以下	空冷または空冷後600以下で水冷																																						
熱加工制御鋼(TMC)	Ceq > 0.38	900以下	空冷または空冷後 <u>500</u> 以下で水冷																																						
	Ceq 0.38	900以下	加熱直後水冷または空冷																																						
その他の鋼材		900以下	赤熱状態からの水冷を避ける																																						
1-228	<p>6-1-4 工場塗装工 3. 請負者は、気温、湿度の条件が表6-14の塗装禁止条件を満足しない場合、塗装を行ってはならない。ただし、塗装作業所が屋内で、しかも温度、湿度が調整されているときは、屋外気象条件に関係なく塗装してもよい。これ以外の場合は、監督員と協議しなければならない。</p> <p>表6-14 塗装禁止条件</p> <table border="1" data-bbox="237 896 1111 1391"> <thead> <tr> <th></th> <th>気温()</th> <th>湿度 (RH%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長ばく形エッチングプライマー</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント</td> <td>0以下</td> <td>50以下</td> </tr> <tr> <td>有機ジंकリッチペイント</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料内面用</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>超厚膜形エポキシ樹脂塗料</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづく)</p>		気温()	湿度 (RH%)	長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上	無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント	0以下	50以下	有機ジंकリッチペイント	10以下	85以上	エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料内面用	10以下	85以上	垂鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	5以下	85以上	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	10以下	85以上	<p>6-1-4 工場塗装工 3. 請負者は、気温、湿度の条件が表6-14の塗装禁止条件を満足しない場合、塗装を行ってはならない。ただし、塗装作業所が屋内で、しかも温度、湿度が調整されているときは、屋外気象条件に関係なく塗装してもよい。これ以外の場合は、監督員と協議しなければならない。</p> <p>表6-14 塗装禁止条件</p> <table border="1" data-bbox="1191 903 2065 1394"> <thead> <tr> <th></th> <th>気温()</th> <th>湿度 (RH%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長ばく形エッチングプライマー</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント</td> <td>0以下</td> <td>50以下</td> </tr> <tr> <td>有機ジंकリッチプライマー 有機ジंकリッチペイント</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>耐熱プライマー</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料(水中部用) エポキシ樹脂塗料(大気部用) 変性エポキシ樹脂塗料(水中部用) 変性エポキシ樹脂塗料(大気部用)</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづく)</p>		気温()	湿度 (RH%)	長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上	無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント	0以下	50以下	有機ジंकリッチプライマー 有機ジंकリッチペイント	10以下	85以上	耐熱プライマー	5以下	85以上	エポキシ樹脂塗料(水中部用) エポキシ樹脂塗料(大気部用) 変性エポキシ樹脂塗料(水中部用) 変性エポキシ樹脂塗料(大気部用)	10以下	85以上
	気温()	湿度 (RH%)																																							
長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上																																							
無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント	0以下	50以下																																							
有機ジंकリッチペイント	10以下	85以上																																							
エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料内面用	10以下	85以上																																							
垂鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	5以下	85以上																																							
超厚膜形エポキシ樹脂塗料	10以下	85以上																																							
	気温()	湿度 (RH%)																																							
長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上																																							
無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント	0以下	50以下																																							
有機ジंकリッチプライマー 有機ジंकリッチペイント	10以下	85以上																																							
耐熱プライマー	5以下	85以上																																							
エポキシ樹脂塗料(水中部用) エポキシ樹脂塗料(大気部用) 変性エポキシ樹脂塗料(水中部用) 変性エポキシ樹脂塗料(大気部用)	10以下	85以上																																							

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂
 第1編 共通編 第6章 工場製作工

ページ	現行	改訂																																																																					
1-228	<p>表6-14 塗装禁止条件 (つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>気温 ()</th> <th>湿度 (RH%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料下塗(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料下塗(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料内面用(低音用)</td> <td>5以下,20以上</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料</td> <td>10以下,30以上</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(低音用)</td> <td>5以下,20以上</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>ふっ素樹脂塗料用中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗 コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>ふっ素樹脂塗料上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗</td> <td>0以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>鉛・クロムフリーさび止めペイント 長油性フタル酸樹脂塗料中塗 長油性フタル酸樹脂塗料上塗</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> </tbody> </table>		気温 ()	湿度 (RH%)	エポキシ樹脂塗料下塗(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料下塗(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料内面用(低音用)	5以下,20以上	85以上	無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	10以下,30以上	85以上	無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(低音用)	5以下,20以上	85以上	コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー	5以下	85以上	ふっ素樹脂塗料用中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗 コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗	5以下	85以上	ふっ素樹脂塗料上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	0以下	85以上	鉛・クロムフリーさび止めペイント 長油性フタル酸樹脂塗料中塗 長油性フタル酸樹脂塗料上塗	5以下	85以上	<p>表6-14 塗装禁止条件 (つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>気温 ()</th> <th>湿度 (RH%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料(水中部用)(低音用) エポキシ樹脂塗料(大気部用)(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料(水中部用)(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料(大気部用)(低音用)</td> <td>5以下,20以上</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>鉛・クロムフリーさび止めペイント</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシMIO塗料</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシMIO塗料(低温用)</td> <td>5以下,20以上</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料中塗 ポリウレタン樹脂塗料用中塗 ふっ素樹脂塗料用中塗</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料上塗</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>ポリウレタン樹脂塗料用上塗 ふっ素樹脂塗料用上塗</td> <td>0以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>長油性フタル酸樹脂塗中塗・上塗</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>ガラスフレーク含有塗料用(エポキシ樹脂) ガラスフレーク含有塗料用(ビニルエステル樹脂)</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>ガラス繊維強化プラスチック(FRP)</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>超厚膜形エポキシ</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>耐熱アルミニウム塗料 アルミニウム塗料</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>シリコン系耐熱塗料</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>シリコン系汚熱塗料</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> </tbody> </table>		気温 ()	湿度 (RH%)	エポキシ樹脂塗料(水中部用)(低音用) エポキシ樹脂塗料(大気部用)(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料(水中部用)(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料(大気部用)(低音用)	5以下,20以上	85以上	鉛・クロムフリーさび止めペイント	5以下	85以上	エポキシMIO塗料	10以下	85以上	エポキシMIO塗料(低温用)	5以下,20以上	85以上	エポキシ樹脂塗料中塗 ポリウレタン樹脂塗料用中塗 ふっ素樹脂塗料用中塗	5以下	85以上	エポキシ樹脂塗料上塗	5以下	85以上	ポリウレタン樹脂塗料用上塗 ふっ素樹脂塗料用上塗	0以下	85以上	長油性フタル酸樹脂塗中塗・上塗	5以下	85以上	ガラスフレーク含有塗料用(エポキシ樹脂) ガラスフレーク含有塗料用(ビニルエステル樹脂)	5以下	85以上	ガラス繊維強化プラスチック(FRP)	5以下	85以上	超厚膜形エポキシ	10以下	85以上	耐熱アルミニウム塗料 アルミニウム塗料	5以下	85以上	シリコン系耐熱塗料	5以下	85以上	シリコン系汚熱塗料	5以下	85以上
	気温 ()	湿度 (RH%)																																																																					
エポキシ樹脂塗料下塗(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料下塗(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料内面用(低音用)	5以下,20以上	85以上																																																																					
無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	10以下,30以上	85以上																																																																					
無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(低音用)	5以下,20以上	85以上																																																																					
コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー	5以下	85以上																																																																					
ふっ素樹脂塗料用中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗 コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗	5以下	85以上																																																																					
ふっ素樹脂塗料上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	0以下	85以上																																																																					
鉛・クロムフリーさび止めペイント 長油性フタル酸樹脂塗料中塗 長油性フタル酸樹脂塗料上塗	5以下	85以上																																																																					
	気温 ()	湿度 (RH%)																																																																					
エポキシ樹脂塗料(水中部用)(低音用) エポキシ樹脂塗料(大気部用)(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料(水中部用)(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料(大気部用)(低音用)	5以下,20以上	85以上																																																																					
鉛・クロムフリーさび止めペイント	5以下	85以上																																																																					
エポキシMIO塗料	10以下	85以上																																																																					
エポキシMIO塗料(低温用)	5以下,20以上	85以上																																																																					
エポキシ樹脂塗料中塗 ポリウレタン樹脂塗料用中塗 ふっ素樹脂塗料用中塗	5以下	85以上																																																																					
エポキシ樹脂塗料上塗	5以下	85以上																																																																					
ポリウレタン樹脂塗料用上塗 ふっ素樹脂塗料用上塗	0以下	85以上																																																																					
長油性フタル酸樹脂塗中塗・上塗	5以下	85以上																																																																					
ガラスフレーク含有塗料用(エポキシ樹脂) ガラスフレーク含有塗料用(ビニルエステル樹脂)	5以下	85以上																																																																					
ガラス繊維強化プラスチック(FRP)	5以下	85以上																																																																					
超厚膜形エポキシ	10以下	85以上																																																																					
耐熱アルミニウム塗料 アルミニウム塗料	5以下	85以上																																																																					
シリコン系耐熱塗料	5以下	85以上																																																																					
シリコン系汚熱塗料	5以下	85以上																																																																					

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第1編 共通編 第6章 工場製作工

ページ	現行	改訂																																																																					
1-231	<p>6-2-3 現場塗装工</p> <p>9. 請負者は、下記の場合塗装を行ってはならない。これ以外の場合は、監督員と協議しなければならない。</p> <p>(1) 塗布作業時の気温・湿度の制限</p> <table border="1" data-bbox="237 448 1111 1350"> <thead> <tr> <th></th> <th>気温 ()</th> <th>湿度 (RH%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長ばく形エッチングプライマー</td> <td>5 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>無機ジンクリッチプライマー 無機ジンクリッチペイント</td> <td>0 以下</td> <td>50 以下</td> </tr> <tr> <td>有機ジンクリッチペイント</td> <td>10 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料内面用</td> <td>10 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗</td> <td>5 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>超厚膜形エポキシ樹脂塗料</td> <td>10 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料下塗 (低音用) 変性エポキシ樹脂塗料下塗 (低音用) 変性エポキシ樹脂塗料内面用 (低音用)</td> <td>5 以下,20 以上</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料</td> <td>10 以下,30 以上</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 (低音用)</td> <td>5 以下,20 以上</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー</td> <td>5 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>ふっ素樹脂塗料用中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗 コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗</td> <td>5 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづく)</p>		気温 ()	湿度 (RH%)	長ばく形エッチングプライマー	5 以下	85 以上	無機ジンクリッチプライマー 無機ジンクリッチペイント	0 以下	50 以下	有機ジンクリッチペイント	10 以下	85 以上	エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料内面用	10 以下	85 以上	垂鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	5 以下	85 以上	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	10 以下	85 以上	エポキシ樹脂塗料下塗 (低音用) 変性エポキシ樹脂塗料下塗 (低音用) 変性エポキシ樹脂塗料内面用 (低音用)	5 以下,20 以上	85 以上	無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	10 以下,30 以上	85 以上	無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 (低音用)	5 以下,20 以上	85 以上	コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー	5 以下	85 以上	ふっ素樹脂塗料用中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗 コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗	5 以下	85 以上	<p>6-2-3 現場塗装工</p> <p>9. 請負者は、下記の場合塗装を行ってはならない。これ以外の場合は、監督員と協議しなければならない。</p> <p>(1) 塗布作業時の気温・湿度の制限</p> <table border="1" data-bbox="1189 448 2063 1350"> <thead> <tr> <th></th> <th>気温 ()</th> <th>湿度 (RH%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長ばく形エッチングプライマー</td> <td>5 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>無機ジンクリッチプライマー 無機ジンクリッチペイント</td> <td>0 以下</td> <td>50 以下</td> </tr> <tr> <td>有機ジンクリッチプライマー 有機ジンクリッチペイント</td> <td>10 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>耐熱プライマー</td> <td>5 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料 (水中部用) エポキシ樹脂塗料 (大気部用) 変性エポキシ樹脂塗料 (水中部用) 変性エポキシ樹脂塗料 (大気部用)</td> <td>10 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料 (水中部用) (低音用) エポキシ樹脂塗料 (大気部用) (低音用) 変性エポキシ樹脂塗料 (水中部用) (低音用) 変性エポキシ樹脂塗料 (大気部用) (低音用)</td> <td>5 以下,20 以上</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>鉛・クロムフリーさび止めペイント</td> <td>5 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシMIO塗料</td> <td>10 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシMIO塗料 (低温用)</td> <td>5 以下,20 以上</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料中塗 ポリウレタン樹脂塗料用中塗 ふっ素樹脂塗料用中塗</td> <td>5 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづく)</p>		気温 ()	湿度 (RH%)	長ばく形エッチングプライマー	5 以下	85 以上	無機ジンクリッチプライマー 無機ジンクリッチペイント	0 以下	50 以下	有機ジンクリッチプライマー 有機ジンクリッチペイント	10 以下	85 以上	耐熱プライマー	5 以下	85 以上	エポキシ樹脂塗料 (水中部用) エポキシ樹脂塗料 (大気部用) 変性エポキシ樹脂塗料 (水中部用) 変性エポキシ樹脂塗料 (大気部用)	10 以下	85 以上	エポキシ樹脂塗料 (水中部用) (低音用) エポキシ樹脂塗料 (大気部用) (低音用) 変性エポキシ樹脂塗料 (水中部用) (低音用) 変性エポキシ樹脂塗料 (大気部用) (低音用)	5 以下,20 以上	85 以上	鉛・クロムフリーさび止めペイント	5 以下	85 以上	エポキシMIO塗料	10 以下	85 以上	エポキシMIO塗料 (低温用)	5 以下,20 以上	85 以上	エポキシ樹脂塗料中塗 ポリウレタン樹脂塗料用中塗 ふっ素樹脂塗料用中塗	5 以下	85 以上
	気温 ()	湿度 (RH%)																																																																					
長ばく形エッチングプライマー	5 以下	85 以上																																																																					
無機ジンクリッチプライマー 無機ジンクリッチペイント	0 以下	50 以下																																																																					
有機ジンクリッチペイント	10 以下	85 以上																																																																					
エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料内面用	10 以下	85 以上																																																																					
垂鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	5 以下	85 以上																																																																					
超厚膜形エポキシ樹脂塗料	10 以下	85 以上																																																																					
エポキシ樹脂塗料下塗 (低音用) 変性エポキシ樹脂塗料下塗 (低音用) 変性エポキシ樹脂塗料内面用 (低音用)	5 以下,20 以上	85 以上																																																																					
無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	10 以下,30 以上	85 以上																																																																					
無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 (低音用)	5 以下,20 以上	85 以上																																																																					
コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー	5 以下	85 以上																																																																					
ふっ素樹脂塗料用中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗 コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗	5 以下	85 以上																																																																					
	気温 ()	湿度 (RH%)																																																																					
長ばく形エッチングプライマー	5 以下	85 以上																																																																					
無機ジンクリッチプライマー 無機ジンクリッチペイント	0 以下	50 以下																																																																					
有機ジンクリッチプライマー 有機ジンクリッチペイント	10 以下	85 以上																																																																					
耐熱プライマー	5 以下	85 以上																																																																					
エポキシ樹脂塗料 (水中部用) エポキシ樹脂塗料 (大気部用) 変性エポキシ樹脂塗料 (水中部用) 変性エポキシ樹脂塗料 (大気部用)	10 以下	85 以上																																																																					
エポキシ樹脂塗料 (水中部用) (低音用) エポキシ樹脂塗料 (大気部用) (低音用) 変性エポキシ樹脂塗料 (水中部用) (低音用) 変性エポキシ樹脂塗料 (大気部用) (低音用)	5 以下,20 以上	85 以上																																																																					
鉛・クロムフリーさび止めペイント	5 以下	85 以上																																																																					
エポキシMIO塗料	10 以下	85 以上																																																																					
エポキシMIO塗料 (低温用)	5 以下,20 以上	85 以上																																																																					
エポキシ樹脂塗料中塗 ポリウレタン樹脂塗料用中塗 ふっ素樹脂塗料用中塗	5 以下	85 以上																																																																					

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂
 第1編 共通編 第6章 工場製作工

ページ	現行	改訂																																							
1-231	<p>(1) 塗布作業時の気温・湿度の制限 (つづき)</p> <table border="1" data-bbox="235 375 1108 742"> <thead> <tr> <th></th> <th>気温 ()</th> <th>湿度 (RH%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ふっ素樹脂塗料上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗 </td> <td>0 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td> 鉛・クロムフリーさび止めペイント 長油性フタル酸樹脂塗料中塗 長油性フタル酸樹脂塗料上塗 </td> <td>5 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> </tbody> </table>		気温 ()	湿度 (RH%)	ふっ素樹脂塗料上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	0 以下	85 以上	鉛・クロムフリーさび止めペイント 長油性フタル酸樹脂塗料中塗 長油性フタル酸樹脂塗料上塗	5 以下	85 以上	<p>(1) 塗布作業時の気温・湿度の制限 (つづき)</p> <table border="1" data-bbox="1187 375 2060 949"> <thead> <tr> <th></th> <th>気温 ()</th> <th>湿度 (RH%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料上塗</td> <td>5 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td> ポリウレタン樹脂塗料用上塗 ふっ素樹脂塗料用上塗 </td> <td>0 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>長油性フタル酸樹脂塗中塗・上塗</td> <td>5 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td> ガラスフレーク含有塗料用(エポキシ樹脂) ガラスフレーク含有塗料用(ビニルエステル樹脂) </td> <td>5 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>ガラス繊維強化プラスチック(FRP)</td> <td>5 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>超厚膜形エポキシ</td> <td>10 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td> 耐熱アルミニウム塗料 アルミニウム塗料 </td> <td>5 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>シリコン系耐熱塗料</td> <td>5 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>シリコン系汚熱塗料</td> <td>5 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> </tbody> </table>		気温 ()	湿度 (RH%)	エポキシ樹脂塗料上塗	5 以下	85 以上	ポリウレタン樹脂塗料用上塗 ふっ素樹脂塗料用上塗	0 以下	85 以上	長油性フタル酸樹脂塗中塗・上塗	5 以下	85 以上	ガラスフレーク含有塗料用(エポキシ樹脂) ガラスフレーク含有塗料用(ビニルエステル樹脂)	5 以下	85 以上	ガラス繊維強化プラスチック(FRP)	5 以下	85 以上	超厚膜形エポキシ	10 以下	85 以上	耐熱アルミニウム塗料 アルミニウム塗料	5 以下	85 以上	シリコン系耐熱塗料	5 以下	85 以上	シリコン系汚熱塗料	5 以下	85 以上
	気温 ()	湿度 (RH%)																																							
ふっ素樹脂塗料上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	0 以下	85 以上																																							
鉛・クロムフリーさび止めペイント 長油性フタル酸樹脂塗料中塗 長油性フタル酸樹脂塗料上塗	5 以下	85 以上																																							
	気温 ()	湿度 (RH%)																																							
エポキシ樹脂塗料上塗	5 以下	85 以上																																							
ポリウレタン樹脂塗料用上塗 ふっ素樹脂塗料用上塗	0 以下	85 以上																																							
長油性フタル酸樹脂塗中塗・上塗	5 以下	85 以上																																							
ガラスフレーク含有塗料用(エポキシ樹脂) ガラスフレーク含有塗料用(ビニルエステル樹脂)	5 以下	85 以上																																							
ガラス繊維強化プラスチック(FRP)	5 以下	85 以上																																							
超厚膜形エポキシ	10 以下	85 以上																																							
耐熱アルミニウム塗料 アルミニウム塗料	5 以下	85 以上																																							
シリコン系耐熱塗料	5 以下	85 以上																																							
シリコン系汚熱塗料	5 以下	85 以上																																							

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第2編 河川・水路編 第1章 築堤・護岸

ページ	現行	改訂
2-1	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>建設省 仮締切堤設置基準（案）（平成10年6月） 三重県 自然に配慮した川づくりの手引き（案）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>国土交通省 仮締切堤設置基準（案）（平成22年6月） 三重県 自然に配慮した川づくりの手引き（案）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第2編 河川・水路編 第3章 樋門・樋管・水路工

ページ	現行	改訂
2-24	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認をもとめなければならない。</p> <p>建設省 仮締切堤設置基準（案）（平成10年6月） （省略） 国土交通省 機械工事施工管理基準（案）（平成17年4月）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認をもとめなければならない。</p> <p>国土交通省 仮締切堤設置基準（案）（平成22年6月） （省略） 国土交通省 機械工事施工管理基準（案）（平成22年4月）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第2編 河川・水路編 第4章 水門

ページ	現行	改訂																																							
2-30	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認をもとめなければならない。</p> <p>建設省 仮締切堤設置基準（案）（平成10年6月） ダム・堰施設技術協会 ダム・堰施設技術基準（案）（同解説）（平成11年3月） （省略） 国土交通省 機械工事施工管理基準（案）（平成17年4月） 国土交通省 機械工事塗装要領（案）・同解説（平成13年9月） 日本道路協会 道路橋支承便覧（平成16年4月）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認をもとめなければならない。</p> <p>国土交通省 仮締切堤設置基準（案）（平成22年6月） ダム・堰施設技術協会 ダム・堰施設技術基準（案）（同解説）（平成21年6月） （省略） 国土交通省 機械工事施工管理基準（案）（平成22年4月） 国土交通省 機械工事塗装要領（案）・同解説（平成22年4月） 日本道路協会 道路橋支承便覧（平成16年4月）</p>																																							
2-45	<p>4-8-2 現場塗装工</p> <p>10. 請負者は、下記の場合塗装を行ってはならない。これ以外の場合は、設計図書に関して監督員と協議しなければならない。</p> <p>（1）塗装禁止条件は表4-9に示すとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">表4-9 塗装禁止条件</p> <table border="1" data-bbox="237 901 1113 1396"> <thead> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>気温（ ）</th> <th>湿度（RH%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長ばく形エッチングプライマー</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント</td> <td>0以下</td> <td>50以下</td> </tr> <tr> <td>有機ジंकリッチペイント</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料内面用</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>超厚膜形エポキシ樹脂塗料</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>（つづく）</p>	塗装の種類	気温（ ）	湿度（RH%）	長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上	無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント	0以下	50以下	有機ジंकリッチペイント	10以下	85以上	エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料内面用	10以下	85以上	垂鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	5以下	85以上	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	10以下	85以上	<p>4-8-2 現場塗装工</p> <p>10. 請負者は、下記の場合塗装を行ってはならない。これ以外の場合は、設計図書に関して監督員と協議しなければならない。</p> <p>（1）塗装禁止条件は表4-9に示すとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">表4-9 塗装禁止条件</p> <table border="1" data-bbox="1189 901 2065 1396"> <thead> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>気温（ ）</th> <th>湿度（RH%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長ばく形エッチングプライマー</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント</td> <td>0以下</td> <td>50以下</td> </tr> <tr> <td>有機ジंकリッチプライマー 有機ジंकリッチペイント</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>耐熱プライマー</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料（水中部用） エポキシ樹脂塗料（大気部用） 変性エポキシ樹脂塗料（水中部用） 変性エポキシ樹脂塗料（大気部用）</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>（つづく）</p>	塗装の種類	気温（ ）	湿度（RH%）	長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上	無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント	0以下	50以下	有機ジंकリッチプライマー 有機ジंकリッチペイント	10以下	85以上	耐熱プライマー	5以下	85以上	エポキシ樹脂塗料（水中部用） エポキシ樹脂塗料（大気部用） 変性エポキシ樹脂塗料（水中部用） 変性エポキシ樹脂塗料（大気部用）	10以下	85以上
塗装の種類	気温（ ）	湿度（RH%）																																							
長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上																																							
無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント	0以下	50以下																																							
有機ジंकリッチペイント	10以下	85以上																																							
エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料内面用	10以下	85以上																																							
垂鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	5以下	85以上																																							
超厚膜形エポキシ樹脂塗料	10以下	85以上																																							
塗装の種類	気温（ ）	湿度（RH%）																																							
長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上																																							
無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント	0以下	50以下																																							
有機ジंकリッチプライマー 有機ジंकリッチペイント	10以下	85以上																																							
耐熱プライマー	5以下	85以上																																							
エポキシ樹脂塗料（水中部用） エポキシ樹脂塗料（大気部用） 変性エポキシ樹脂塗料（水中部用） 変性エポキシ樹脂塗料（大気部用）	10以下	85以上																																							

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第2編 河川・水路編 第4章 水門

ページ	現行	改訂																																																																					
2-45	<p>表4-9 塗装禁止条件 (つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>気温()</th> <th>湿度 (RH%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料下塗(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料下塗(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料内面用(低音用)</td> <td>5以下,20以上</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料</td> <td>10以下,30以上</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(低音用)</td> <td>5以下,20以上</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>ふっ素樹脂塗料用中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗 コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>ふっ素樹脂塗料上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗</td> <td>0以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>鉛・クロムフリーさび止めペイント 長油性フタル酸樹脂塗料中塗 長油性フタル酸樹脂塗料上塗</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> </tbody> </table>	塗装の種類	気温()	湿度 (RH%)	エポキシ樹脂塗料下塗(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料下塗(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料内面用(低音用)	5以下,20以上	85以上	無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	10以下,30以上	85以上	無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(低音用)	5以下,20以上	85以上	コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー	5以下	85以上	ふっ素樹脂塗料用中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗 コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗	5以下	85以上	ふっ素樹脂塗料上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	0以下	85以上	鉛・クロムフリーさび止めペイント 長油性フタル酸樹脂塗料中塗 長油性フタル酸樹脂塗料上塗	5以下	85以上	<p>表4-9 塗装禁止条件 (つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>気温()</th> <th>湿度 (RH%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料(水中部用)(低音用) エポキシ樹脂塗料(大気部用)(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料(水中部用)(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料(大気部用)(低音用)</td> <td>5以下,20以上</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>鉛・クロムフリーさび止めペイント</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシMIO塗料</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシMIO塗料(低温用)</td> <td>5以下,20以上</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料中塗 ポリウレタン樹脂塗料用中塗 ふっ素樹脂塗料用中塗</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料上塗</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>ポリウレタン樹脂塗料用上塗 ふっ素樹脂塗料用上塗</td> <td>0以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>長油性フタル酸樹脂塗中塗・上塗</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>ガラスフレーク含有塗料用(エポキシ樹脂) ガラスフレーク含有塗料用(ビニルエステル樹脂)</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>ガラス繊維強化プラスチック(FRP)</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>超厚膜形エポキシ</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>耐熱アルミニウム塗料 アルミニウム塗料</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>シリコン系耐熱塗料</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>シリコン系汚熱塗料</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> </tbody> </table>	塗装の種類	気温()	湿度 (RH%)	エポキシ樹脂塗料(水中部用)(低音用) エポキシ樹脂塗料(大気部用)(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料(水中部用)(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料(大気部用)(低音用)	5以下,20以上	85以上	鉛・クロムフリーさび止めペイント	5以下	85以上	エポキシMIO塗料	10以下	85以上	エポキシMIO塗料(低温用)	5以下,20以上	85以上	エポキシ樹脂塗料中塗 ポリウレタン樹脂塗料用中塗 ふっ素樹脂塗料用中塗	5以下	85以上	エポキシ樹脂塗料上塗	5以下	85以上	ポリウレタン樹脂塗料用上塗 ふっ素樹脂塗料用上塗	0以下	85以上	長油性フタル酸樹脂塗中塗・上塗	5以下	85以上	ガラスフレーク含有塗料用(エポキシ樹脂) ガラスフレーク含有塗料用(ビニルエステル樹脂)	5以下	85以上	ガラス繊維強化プラスチック(FRP)	5以下	85以上	超厚膜形エポキシ	10以下	85以上	耐熱アルミニウム塗料 アルミニウム塗料	5以下	85以上	シリコン系耐熱塗料	5以下	85以上	シリコン系汚熱塗料	5以下	85以上
塗装の種類	気温()	湿度 (RH%)																																																																					
エポキシ樹脂塗料下塗(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料下塗(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料内面用(低音用)	5以下,20以上	85以上																																																																					
無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	10以下,30以上	85以上																																																																					
無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(低音用)	5以下,20以上	85以上																																																																					
コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー	5以下	85以上																																																																					
ふっ素樹脂塗料用中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗 コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗	5以下	85以上																																																																					
ふっ素樹脂塗料上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	0以下	85以上																																																																					
鉛・クロムフリーさび止めペイント 長油性フタル酸樹脂塗料中塗 長油性フタル酸樹脂塗料上塗	5以下	85以上																																																																					
塗装の種類	気温()	湿度 (RH%)																																																																					
エポキシ樹脂塗料(水中部用)(低音用) エポキシ樹脂塗料(大気部用)(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料(水中部用)(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料(大気部用)(低音用)	5以下,20以上	85以上																																																																					
鉛・クロムフリーさび止めペイント	5以下	85以上																																																																					
エポキシMIO塗料	10以下	85以上																																																																					
エポキシMIO塗料(低温用)	5以下,20以上	85以上																																																																					
エポキシ樹脂塗料中塗 ポリウレタン樹脂塗料用中塗 ふっ素樹脂塗料用中塗	5以下	85以上																																																																					
エポキシ樹脂塗料上塗	5以下	85以上																																																																					
ポリウレタン樹脂塗料用上塗 ふっ素樹脂塗料用上塗	0以下	85以上																																																																					
長油性フタル酸樹脂塗中塗・上塗	5以下	85以上																																																																					
ガラスフレーク含有塗料用(エポキシ樹脂) ガラスフレーク含有塗料用(ビニルエステル樹脂)	5以下	85以上																																																																					
ガラス繊維強化プラスチック(FRP)	5以下	85以上																																																																					
超厚膜形エポキシ	10以下	85以上																																																																					
耐熱アルミニウム塗料 アルミニウム塗料	5以下	85以上																																																																					
シリコン系耐熱塗料	5以下	85以上																																																																					
シリコン系汚熱塗料	5以下	85以上																																																																					

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第2編 河川・水路編 第5章 堰

ページ	現行	改訂
2-68	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認をもとめなければならない。</p> <p>ダム・堰施設技術協会 ダム・堰施設技術基準（案）（同解説）（平成11年3月） 国土開発技術研究センター ゴム引布製起伏堰技術基準（案）（平成12年10月） 建設省 仮締切堤設置基準（案）（平成10年6月） （以下省略）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認をもとめなければならない。</p> <p>ダム・堰施設技術協会 ダム・堰施設技術基準（案）（同解説）（平成21年6月） 国土開発技術研究センター ゴム引布製起伏堰技術基準（案）（平成12年10月） 国土交通省 仮締切堤設置基準（案）（平成22年6月） （以下省略）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第2編 河川・水路編 第6章 排水機場

ページ	現行	改訂
2-80	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>ダム・堰施設技術協会 ダム・堰施設技術基準（案）（同解説）（平成11年3月） 建設省 仮締切堤設置基準（案）（平成10年6月） 河川ポンプ施設技術協会 揚排水ポンプ設備技術基準（案）（同解説）（平成13年） 河川ポンプ施設技術協会 揚排水ポンプ設備設計指針（案）（同解説）（平成13年）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>ダム・堰施設技術協会 ダム・堰施設技術基準（案）（同解説）（平成21年6月） 国土交通省 仮締切堤設置基準（案）（平成22年6月） 河川ポンプ施設技術協会 揚排水ポンプ設備技術基準（案）（同解説）（平成13年） 河川ポンプ施設技術協会 揚排水ポンプ設備設計指針（案）（同解説）（平成13年）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第2編 河川・水路編 第7章 床止め・床固め

ページ	現行	改訂
2-85	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認をもとめなければならない。</p> <p>建設省 仮締切堤設置基準（案）（平成10年6月）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認をもとめなければならない。</p> <p>国土交通省 仮締切堤設置基準（案）（平成22年6月）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第2編 河川・水路編 第9章 河川修繕

ページ	現行	改訂
2-99	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 鋼道路橋塗装・防食便覧（平成17年12月） 日本道路協会 道路維持修繕要綱（昭和53年7月） ダム・堰施設技術協会 ダム・堰施設技術基準（案）（同解説）（平成11年3月） 河川ポンプ施設技術協会 揚排水ポンプ設備技術基準（案）（同解説）（平成8年3月）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 鋼道路橋塗装・防食便覧（平成17年12月） 日本道路協会 道路維持修繕要綱（昭和53年7月） ダム・堰施設技術協会 ダム・堰施設技術基準（案）（同解説）（平成21年6月） 河川ポンプ施設技術協会 揚排水ポンプ設備技術基準（案）（同解説）（平成13年）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂
 第3編 海岸編 第1章 堤防・護岸

ページ	現行	改訂
3-1	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、次の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>土木学会 海洋コンクリート構造物設計施工指針（案）（昭和51年12月） 土木学会 水中不分離性コンクリート設計施工指針（案）（平成3年5月） 農林水産省、国土交通省 海岸保全施設の技術上の基準について（平成16年4月） 海岸保全施設技術研究会 海岸保全施設の技術上の基準・同解説（平成16年6月）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、次の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>土木学会 海洋コンクリート構造物設計施工指針（案）（昭和51年12月） 土木学会 水中不分離性コンクリート設計施工指針（案）（平成3年5月） 農林水産省、国土交通省 海岸保全施設の技術上の基準について（平成16年3月） 海岸保全施設技術研究会 海岸保全施設の技術上の基準・同解説（平成16年6月）</p>
3-7	<p>第9節 カルバート工</p> <p>1-9-1 一般事項</p> <p>2. 請負者は、カルバートの施工にあたっては、道路土工 - カルバート工指針 <u>4-1 施工一般、道路土工 - 排水工指針 2-3 道路横断排水</u>の規定によらなければならない。</p> <p>1-9-2 材料</p> <p>請負者は、プレキャストカルバート工の施工に使用する材料は、設計図書によるものとするが、記載なき場合、道路土工 - カルバート工指針 <u>3-1-2 材料</u>と許容応力度の規定によらなければならない。</p>	<p>第9節 カルバート工</p> <p>1-9-1 一般事項</p> <p>2. 請負者は、カルバートの施工にあたっては、道路土工 - カルバート工指針 <u>7-1 基本方針、道路土工要綱 2-7 排水施設の施工</u>の規定によらなければならない。</p> <p>1-9-2 材料</p> <p>請負者は、プレキャストカルバート工の施工に使用する材料は、設計図書によるものとするが、記載なき場合、道路土工 - カルバート工指針 <u>4-4 使用材料、4-5 許容応力度</u>の規定によらなければならない。</p>
3-8	<p>1-9-3 プレキャストカルバート工</p> <p>3. 請負者は、プレキャストボックスカルバートの縦締め施工については、道路土工 - カルバート工指針 <u>4-2-2(2)敷設工</u>の規定によらなければならない。これ以外の施工方法による場合は、施工前に設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。</p>	<p>1-9-3 プレキャストカルバート工</p> <p>3. 請負者は、プレキャストボックスカルバートの縦締め施工については、道路土工 - カルバート工指針 <u>7-2-(2) 2敷設工</u>の規定によらなければならない。これ以外の施工方法による場合は、施工前に設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第3編 海岸編 第2章 突堤・人工岬

ページ	現行	改訂
3-12	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>土木学会 海洋コンクリート構造物設計施工指針（案）(昭和51年12月) 土木学会 水中不分離性コンクリート設計施工指針（案）(平成3年5月) 農林水産省、国土交通省 海岸保全施設の技術上の基準について（平成16年4月） 海岸保全施設技術研究会 海岸保全施設の技術上の基準・同解説（平成16年6月）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>土木学会 海洋コンクリート構造物設計施工指針（案）(昭和51年12月) 土木学会 水中不分離性コンクリート設計施工指針（案）(平成3年5月) 農林水産省、国土交通省 海岸保全施設の技術上の基準について（平成16年3月） 海岸保全施設技術研究会 海岸保全施設の技術上の基準・同解説（平成16年6月）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第3編 海岸編 第3章 海域堤防（人工リーフ、離岸堤、潜堤）

ページ	現行	改訂
3-18	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>土木学会 海洋コンクリート構造物設計施工指針（案）(昭和51年12月) 土木学会 水中不分離性コンクリート設計施工指針（案）(平成3年5月) 農林水産省、国土交通省 海岸保全施設の技術上の基準について（平成16年4月） 海岸保全施設技術研究会 海岸保全施設の技術上の基準・同解説（平成16年6月）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>土木学会 海洋コンクリート構造物設計施工指針（案）(昭和51年12月) 土木学会 水中不分離性コンクリート設計施工指針（案）(平成3年5月) 農林水産省、国土交通省 海岸保全施設の技術上の基準について（平成16年3月） 海岸保全施設技術研究会 海岸保全施設の技術上の基準・同解説（平成16年6月）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第4編 砂防・地滑り防止編 第1章 ダム

ページ	現行	改訂																																							
4-1	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>土木学会 コンクリート標準示方書（ダム・コンクリート編）（平成14年3月） 土木学会 コンクリート標準示方書（施工編）（平成14年3月） 日本道路協会 道路橋示方書・同解説（ 共通編 鋼橋編）（平成14年3月） 日本道路協会 鋼道路橋塗装便覧（平成17年12月）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>土木学会 コンクリート標準示方書（ダム・コンクリート編）（平成20年3月） 土木学会 コンクリート標準示方書（施工編）（平成20年3月） 日本道路協会 道路橋示方書・同解説（ 共通編 鋼橋編）（平成14年3月） 日本道路協会 鋼道路橋塗装・<u>防食</u>便覧（平成17年12月）</p>																																							
4-12	<p>1-5-9 現場塗装工</p> <p>11. 請負者は、下記の場合塗装を行ってはならない。これにより難しい場合は、設計図書に関して監督員と協議しなければならない。</p> <p>（1）塗装禁止条件は、表1-5に示すとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">表1-5 塗装禁止条件</p> <table border="1" data-bbox="241 895 1111 1390"> <thead> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>気温（ ）</th> <th>湿度 （RH%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長ばく形エッチングプライマー</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント</td> <td>0以下</td> <td>50以下</td> </tr> <tr> <td>有機ジंकリッチペイント</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料内面用</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>超厚膜形エポキシ樹脂塗料</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>（つづく）</p>	塗装の種類	気温（ ）	湿度 （RH%）	長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上	無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント	0以下	50以下	有機ジंकリッチペイント	10以下	85以上	エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料内面用	10以下	85以上	亜鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	5以下	85以上	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	10以下	85以上	<p>1-5-9 現場塗装工</p> <p>11. 請負者は、下記の場合塗装を行ってはならない。これにより難しい場合は、設計図書に関して監督員と協議しなければならない。</p> <p>（1）塗装禁止条件は、表1-5に示すとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">表1-5 塗装禁止条件</p> <table border="1" data-bbox="1196 895 2065 1390"> <thead> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>気温（ ）</th> <th>湿度 （RH%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長ばく形エッチングプライマー</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント</td> <td>0以下</td> <td>50以下</td> </tr> <tr> <td>有機ジंकリッチプライマー 有機ジंकリッチペイント</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>耐熱プライマー</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料（水中部用） エポキシ樹脂塗料（大気部用） 変性エポキシ樹脂塗料（水中部用） 変性エポキシ樹脂塗料（大気部用）</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>（つづく）</p>	塗装の種類	気温（ ）	湿度 （RH%）	長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上	無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント	0以下	50以下	有機ジंकリッチプライマー 有機ジंकリッチペイント	10以下	85以上	耐熱プライマー	5以下	85以上	エポキシ樹脂塗料（水中部用） エポキシ樹脂塗料（大気部用） 変性エポキシ樹脂塗料（水中部用） 変性エポキシ樹脂塗料（大気部用）	10以下	85以上
塗装の種類	気温（ ）	湿度 （RH%）																																							
長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上																																							
無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント	0以下	50以下																																							
有機ジंकリッチペイント	10以下	85以上																																							
エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料内面用	10以下	85以上																																							
亜鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	5以下	85以上																																							
超厚膜形エポキシ樹脂塗料	10以下	85以上																																							
塗装の種類	気温（ ）	湿度 （RH%）																																							
長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上																																							
無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント	0以下	50以下																																							
有機ジंकリッチプライマー 有機ジंकリッチペイント	10以下	85以上																																							
耐熱プライマー	5以下	85以上																																							
エポキシ樹脂塗料（水中部用） エポキシ樹脂塗料（大気部用） 変性エポキシ樹脂塗料（水中部用） 変性エポキシ樹脂塗料（大気部用）	10以下	85以上																																							

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂
 第2編 河川・水路編 第1章 築堤・護岸

ページ	現行	改訂																																																																								
4-12	<p>表1-5 塗装禁止条件 (つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>気温()</th> <th>湿度 (RH%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>超厚膜形エポキシ樹脂塗料</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料下塗(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料下塗(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料内面用(低音用)</td> <td>5以下,20以上</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料</td> <td>10以下,30以上</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(低音用)</td> <td>5以下,20以上</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>ふっ素樹脂塗料用中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗 コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>ふっ素樹脂塗料上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗</td> <td>0以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>鉛・クロムフリーさび止めペイント 長油性フタル酸樹脂塗料中塗 長油性フタル酸樹脂塗料上塗</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> </tbody> </table>	塗装の種類	気温()	湿度 (RH%)	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	10以下	85以上	エポキシ樹脂塗料下塗(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料下塗(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料内面用(低音用)	5以下,20以上	85以上	無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	10以下,30以上	85以上	無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(低音用)	5以下,20以上	85以上	コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー	5以下	85以上	ふっ素樹脂塗料用中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗 コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗	5以下	85以上	ふっ素樹脂塗料上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	0以下	85以上	鉛・クロムフリーさび止めペイント 長油性フタル酸樹脂塗料中塗 長油性フタル酸樹脂塗料上塗	5以下	85以上	<p>表1-5 塗装禁止条件 (つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>気温()</th> <th>湿度 (RH%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料(水中部用)(低音用) エポキシ樹脂塗料(大気部用)(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料(水中部用)(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料(大気部用)(低音用)</td> <td>5以下,20以上</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>鉛・クロムフリーさび止めペイント</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシMIO塗料</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシMIO塗料(低温用)</td> <td>5以下,20以上</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料中塗 ポリウレタン樹脂塗料用中塗 ふっ素樹脂塗料用中塗</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料上塗</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>ポリウレタン樹脂塗料用上塗 ふっ素樹脂塗料用上塗</td> <td>0以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>長油性フタル酸樹脂塗中塗・上塗</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>ガラスフレーク含有塗料用(エポキシ樹脂) ガラスフレーク含有塗料用(ビニルエステル樹脂)</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>ガラス繊維強化プラスチック(FRP)</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>超厚膜形エポキシ</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>耐熱アルミニウム塗料 アルミニウム塗料</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>シリコン系耐熱塗料</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>シリコン系汚熱塗料</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> </tbody> </table>	塗装の種類	気温()	湿度 (RH%)	エポキシ樹脂塗料(水中部用)(低音用) エポキシ樹脂塗料(大気部用)(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料(水中部用)(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料(大気部用)(低音用)	5以下,20以上	85以上	鉛・クロムフリーさび止めペイント	5以下	85以上	エポキシMIO塗料	10以下	85以上	エポキシMIO塗料(低温用)	5以下,20以上	85以上	エポキシ樹脂塗料中塗 ポリウレタン樹脂塗料用中塗 ふっ素樹脂塗料用中塗	5以下	85以上	エポキシ樹脂塗料上塗	5以下	85以上	ポリウレタン樹脂塗料用上塗 ふっ素樹脂塗料用上塗	0以下	85以上	長油性フタル酸樹脂塗中塗・上塗	5以下	85以上	ガラスフレーク含有塗料用(エポキシ樹脂) ガラスフレーク含有塗料用(ビニルエステル樹脂)	5以下	85以上	ガラス繊維強化プラスチック(FRP)	5以下	85以上	超厚膜形エポキシ	10以下	85以上	耐熱アルミニウム塗料 アルミニウム塗料	5以下	85以上	シリコン系耐熱塗料	5以下	85以上	シリコン系汚熱塗料	5以下	85以上
塗装の種類	気温()	湿度 (RH%)																																																																								
超厚膜形エポキシ樹脂塗料	10以下	85以上																																																																								
エポキシ樹脂塗料下塗(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料下塗(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料内面用(低音用)	5以下,20以上	85以上																																																																								
無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	10以下,30以上	85以上																																																																								
無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(低音用)	5以下,20以上	85以上																																																																								
コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー	5以下	85以上																																																																								
ふっ素樹脂塗料用中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗 コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗	5以下	85以上																																																																								
ふっ素樹脂塗料上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	0以下	85以上																																																																								
鉛・クロムフリーさび止めペイント 長油性フタル酸樹脂塗料中塗 長油性フタル酸樹脂塗料上塗	5以下	85以上																																																																								
塗装の種類	気温()	湿度 (RH%)																																																																								
エポキシ樹脂塗料(水中部用)(低音用) エポキシ樹脂塗料(大気部用)(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料(水中部用)(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料(大気部用)(低音用)	5以下,20以上	85以上																																																																								
鉛・クロムフリーさび止めペイント	5以下	85以上																																																																								
エポキシMIO塗料	10以下	85以上																																																																								
エポキシMIO塗料(低温用)	5以下,20以上	85以上																																																																								
エポキシ樹脂塗料中塗 ポリウレタン樹脂塗料用中塗 ふっ素樹脂塗料用中塗	5以下	85以上																																																																								
エポキシ樹脂塗料上塗	5以下	85以上																																																																								
ポリウレタン樹脂塗料用上塗 ふっ素樹脂塗料用上塗	0以下	85以上																																																																								
長油性フタル酸樹脂塗中塗・上塗	5以下	85以上																																																																								
ガラスフレーク含有塗料用(エポキシ樹脂) ガラスフレーク含有塗料用(ビニルエステル樹脂)	5以下	85以上																																																																								
ガラス繊維強化プラスチック(FRP)	5以下	85以上																																																																								
超厚膜形エポキシ	10以下	85以上																																																																								
耐熱アルミニウム塗料 アルミニウム塗料	5以下	85以上																																																																								
シリコン系耐熱塗料	5以下	85以上																																																																								
シリコン系汚熱塗料	5以下	85以上																																																																								

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第4編 砂防・地滑り防止編 第2章 流路工

ページ	現行	改訂
4-21	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 擁壁工指針（平成11年3月） 日本道路協会 道路土工 - カルバート工指針（平成11年3月） 日本道路協会 道路土工 - 仮設構造物工指針（平成11年3月）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 擁壁工指針（平成11年3月） 日本道路協会 道路土工 - カルバート工指針（平成22年3月） 日本道路協会 道路土工 - 仮設構造物工指針（平成11年3月）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第4編 砂防・地滑り防止編 第3章 斜面对策

ページ	現行	改訂
4-25	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>全国治水砂防協会 <u>急傾斜地崩壊防止工事技術指針</u>（平成8年7月） 全国特定法面保護協会 のり枠工の設計施工指針（平成15年3月） 日本道路協会 道路土工 - 擁壁工指針（平成11年3月） 日本道路協会 道路土工 - カルバート指針（平成11年3月） 日本道路協会 道路土工 - <u>排水</u>工指針（平成11年3月） 日本道路協会 道路土工 - <u>のり面</u>・斜面安定工指針（平成11年3月） 日本道路協会 道路土工 - 仮設構造物工指針（平成11年3月） 土木研究センター 補強土（テールアルメ）壁工法設計・施工マニュアル（平成15年11月） 地盤工学会 グランドアンカー設計・施工基準・同解説（平成12年3月） PCフレーム協会 PCフレームアンカー工法 設計・施工の手引き（平成17年7月） 斜面防災対策技術協会 地すべり鋼管杭設計要領（平成15年6月） 斜面防災対策技術協会 地すべり対策技術設計実施要領 <u>（第三分冊）</u>（平成8年4月） <u>地すべり対策技術協会 地すべり対策技術設計実施要領（第四分冊）</u>（平成8年4月）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>全国治水砂防協会 <u>新・斜面崩壊防止工事の設計と実例</u>（平成19年9月） 全国特定法面保護協会 のり枠工の設計施工指針（平成18年11月） 日本道路協会 道路土工 - 擁壁工指針（平成11年3月） 日本道路協会 道路土工 - カルバート指針（平成22年3月） 日本道路協会 道路土工 - <u>盛土</u>工指針（平成22年4月） 日本道路協会 道路土工 - <u>切土工</u>・斜面安定工指針（平成21年6月） 日本道路協会 道路土工 - 仮設構造物工指針（平成11年3月） 土木研究センター 補強土（テールアルメ）壁工法設計・施工マニュアル（平成15年11月） 地盤工学会 グランドアンカー設計・施工基準・同解説（平成12年3月） PCフレーム協会 PCフレームアンカー工法 設計・施工の手引き（平成17年7月） 斜面防災対策技術協会 地すべり鋼管杭設計要領（平成20年5月） 斜面防災対策技術協会 地すべり対策技術設計実施要領（平成19年12月） （削除）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第6編 道路編 第1章 道路開設・改良

ページ	現行	改訂
6-1	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、次の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>地盤工学会 グラウンドアンカー設計・施工基準，同解説（平成12年3月） 日本道路協会 道路土工 <u>施工指針</u>（<u>昭和61</u>年<u>11</u>月） 日本道路協会 道路土工 <u>のり面工</u>・斜面安定工指針（平成<u>11</u>年<u>3</u>月） 日本道路協会 道路土工 擁壁工指針（平成11年3月） 日本道路協会 道路土工 カルバート工指針（平成<u>11</u>年3月） 日本道路協会 道路土工 仮設構造物工指針（平成11年3月） 日本道路協会 道路土工 <u>排水工指針</u>（<u>昭和62</u>年<u>6</u>月） （以下省略）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、次の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>地盤工学会 グラウンドアンカー設計・施工基準，同解説（平成12年3月） 日本道路協会 道路土工 <u>要綱</u>（<u>平成21</u>年<u>6</u>月） 日本道路協会 道路土工 <u>切土工</u>・斜面安定工指針（平成<u>21</u>年<u>6</u>月） 日本道路協会 道路土工 擁壁工指針（平成11年3月） 日本道路協会 道路土工 カルバート工指針（平成<u>22</u>年3月） 日本道路協会 道路土工 仮設構造物工指針（平成11年3月） 日本道路協会 道路土工 <u>盛土工指針</u>（<u>平成22</u>年<u>4</u>月） （以下省略）</p>
6-2	<p>第4節 法面工</p> <p>1-4-1 一般事項</p> <p>2. 請負者は、法面の施工にあたって、道路土工 <u>のり面工</u>・斜面安定工指針 <u>3設計と施工</u>、のり枠工の設計・施工指針 第5章 施工、グラウンドアンカー設計・施工基準，同解説 第7章 施工の規定によらなければならない。</p> <p>これ以外の施工方法による場合は、施工前に設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。</p>	<p>第4節 法面工</p> <p>1-4-1 一般事項</p> <p>2. 請負者は、法面の施工にあたって、道路土工 <u>切土工</u>・斜面安定工指針 <u>のり面工編、斜面安定工編、道路土工 盛土工指針 5-6盛土のり面の施工</u>、のり枠工の設計・施工指針 第5章 施工、グラウンドアンカー設計・施工基準，同解説 第7章 施工の規定によらなければならない。</p> <p>これ以外の施工方法による場合は、施工前に設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第6編 道路編 第1章 道路開設・改良

ページ	現行	改訂
6-6	<p>第7節 カルバート工</p> <p>1-7-1 一般事項</p> <p>2. 請負者は、カルバートの施工にあたっては、道路土工 - カルバート工指針 <u>4-1 施工一般</u>、道路土工 - <u>排水工指針 2-3 道路横断排水</u>の規定によらなければならない。</p> <p>1-7-2 材料</p> <p>請負者は、プレキャストカルバート工の施工に使用する材料は、設計図書によるものとするが、記載なき場合、道路土工 - カルバート工指針 <u>3-1-2 材料</u>と許容応力度の規定によらなければならない。</p>	<p>第7節 カルバート工</p> <p>1-7-1 一般事項</p> <p>2. 請負者は、カルバートの施工にあたっては、道路土工 - カルバート工指針 <u>7-1 基本方針</u>、道路土工 <u>要綱 2-7 排水施設の施工</u>の規定によらなければならない。</p> <p>1-7-2 材料</p> <p>請負者は、プレキャストカルバート工の施工に使用する材料は、設計図書によるものとするが、記載なき場合、道路土工 - カルバート工指針 <u>4-4 使用材料</u>、<u>4-5 許容応力度</u>の規定によらなければならない。</p>
6-7	<p>1-7-7 プレキャストカルバート工</p> <p>3. 請負者は、プレキャストボックスカルバートの縦締め施工については、道路土工 - カルバート工指針 <u>4-2-2(2)敷設工</u>の規定によらなければならない。これ以外の施工方法による場合は、施工前に設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。</p>	<p>1-7-7 プレキャストカルバート工</p> <p>3. 請負者は、プレキャストボックスカルバートの縦締め施工については、道路土工 - カルバート工指針 <u>7-2-(2) 2)敷設工</u>の規定によらなければならない。これ以外の施工方法による場合は、施工前に設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。</p>
6-7	<p>第8節 排水構造物工（小型水路工）</p> <p>1-8-1 一般事項</p> <p>2. 請負者は、排水構造物工（小型水路工）の施工にあたっては、道路土工 - <u>排水工指針 2 - 2 路面排水及び 3 - 5 地下排水施設の施工</u>の規定によらなければならない。</p>	<p>第8節 排水構造物工（小型水路工）</p> <p>1-8-1 一般事項</p> <p>2. 請負者は、排水構造物工（小型水路工）の施工にあたっては、道路土工 <u>要綱 2-7 排水施設の施工</u>の規定によらなければならない。</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第6編 道路編 第2章 舗装

ページ	現行	改訂
6-17	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、次の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 舗装設計施工指針（平成18年2月） 日本道路協会 舗装施工便覧（平成18年2月） 日本道路協会 舗装設計便覧（平成18年2月） 日本道路協会 アスファルト舗装工事共通仕様書解説（平成4年12月） <u>日本道路協会 道路土工 排水工指針（昭和62年6月）</u> 日本道路協会 道路土工 <u>施工指針（昭和61年11月）</u> 日本道路協会 道路緑化技術基準・同解説（昭和63年12月） 日本道路協会 舗装の構造に関する技術基準・同解説（平成13年9月） 日本道路協会 舗装再生便覧（平成16年2月） 日本道路協会 舗装試験法便覧（昭和63年11月） <u>日本道路協会 舗装試験法便覧別冊（昭和63年11月）</u> 日本道路協会 アスファルト混合所便覧（平成8年版）（平成8年10月） 日本道路協会 道路照明施設設置基準・同解説（平成19年10月） 日本道路協会 視線誘導標設置基準・同解説（昭和59年10月） 日本道路協会 道路反射鏡設置指針（昭和55年12月） 建設省 防護柵の設置基準の改訂について（平成10年11月） （以下省略）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、次の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 舗装設計施工指針（平成18年2月） 日本道路協会 舗装施工便覧（平成18年2月） 日本道路協会 舗装設計便覧（平成18年2月） 日本道路協会 アスファルト舗装工事共通仕様書解説（平成4年12月） （削除） 日本道路協会 道路土工 <u>要綱（平成21年6月）</u> 日本道路協会 道路緑化技術基準・同解説（昭和63年12月） 日本道路協会 舗装の構造に関する技術基準・同解説（平成13年9月） 日本道路協会 舗装再生便覧（平成22年12月） 日本道路協会 舗装調査・試験法便覧（平成19年6月） （削除） 日本道路協会 アスファルト混合所便覧（平成8年版）（平成8年10月） 日本道路協会 道路照明施設設置基準・同解説（平成19年10月） 日本道路協会 視線誘導標設置基準・同解説（昭和59年10月） 日本道路協会 道路反射鏡設置指針（昭和55年12月） 国土交通省 防護柵の設置基準の改定について（平成16年3月） （以下省略）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第6編 道路編 第2章 舗装

ページ	現行	改訂
6-30	<p>第4節 排水構造物工（路面排水工）</p> <p>2-4-1 一般事項</p> <p>2. 排水構造物工（路面排水工）の施工にあたっては、<u>道路土工・排水工指針の地下排水施設の施工、のり面排水施設の設計と施工、構造物の排水、施工時の排水の規定及び道路土工・施工指針の施工</u>の規定及び第6編 2-4-3 側溝工、2-4-5 集水桝・マンホール工の規定によらなければならない。</p>	<p>第4節 排水構造物工（路面排水工）</p> <p>2-4-1 一般事項</p> <p>2. 排水構造物工（路面排水工）の施工にあたっては、道路土工<u>要綱の排水施設の施工</u>の規定及び第6編 2-4-3 側溝工、2-4-5 集水桝・マンホール工の規定によらなければならない。</p>
6-31	<p>第5節 防護柵工</p> <p>2-5-1 一般事項</p> <p>3. 請負者は、防護柵工の施工にあたって、防護柵の設置基準・同解説 4-1 施工の規定、道路土工<u>施工指針の施工</u>の規定、及び第1編 3-3-11 路側防護柵工、3-3-10 防止柵工の規定によらなければならない。</p>	<p>第5節 防護柵工</p> <p>2-5-1 一般事項</p> <p>3. 請負者は、防護柵工の施工にあたって、防護柵の設置基準・同解説 4-1 施工の規定、道路土工<u>要綱 第5章 施工計画</u>の規定、及び第1編 3-3-11 路側防護柵工、3-3-10 防止柵工の規定によらなければならない。</p>
6-32	<p>第6節 標識工</p> <p>2-6-1 一般事項</p> <p>3. 請負者は、標識工の施工にあたって、道路標識設置基準・同解説第4章基礎及び施工の規定、道路土工<u>施工指針の施工</u>の規定、道路付属物の基礎についての規定、第1編 3-3-9 小型標識工の規定、3-3-3 作業土工の規定 3-13-5 土留・仮締切工の規定及び道路標識ハンドブックによらなければならない。</p> <p>2-6-2 材 料</p> <p>2. 標識工に使用する錆止めペイントは、J I S K 5621（一般用錆止めペイント）からJ I S K <u>5628（鉛丹ジंकクロメート錆止めペイント2種）</u>に適合するものを用いるものとする。</p>	<p>第6節 標識工</p> <p>2-6-1 一般事項</p> <p>3. 請負者は、標識工の施工にあたって、道路標識設置基準・同解説第4章基礎及び施工の規定、道路土工<u>要綱 第5章 施工計画</u>の規定、道路付属物の基礎についての規定、第1編 3-3-9 小型標識工の規定、3-3-3 作業土工の規定 3-13-5 土留・仮締切工の規定及び道路標識ハンドブックによらなければならない。</p> <p>2-6-2 材 料</p> <p>2. 標識工に使用する錆止めペイントは、J I S K 5621（一般用錆止めペイント）からJ I S K <u>5674（鉛・クロムフリーさび止めペイント）</u>に適合するものを用いるものとする。</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第6編 道路編 第2章 舗装

ページ	現行	改訂
6-35	<p>第7節 道路附属施設工</p> <p>請負者は、道路附属施設工の施工にあたって、視線誘導標設置基準・同解説第5章の施工の規定、道路照明施設設置基準・同解説第7章設計及び施工の規定、道路土工<u>施工指針の施工</u>の規定、道路反射鏡設置指針第2章設置方法の規定及び第5章施工の規定、第1編 3-3-12 区画線工及び 3-3-8 縁石工の規定、3-3-13 道路附属物工の規定、第6編 2-9-4 境界工及び 2-10-3 道路植栽工の規定、2-11-4 踏掛版工、2-7-2 ケーブル配管工及び 2-7-3 照明工の規定によらなければならない。</p>	<p>第7節 道路附属施設工</p> <p>請負者は、道路附属施設工の施工にあたって、視線誘導標設置基準・同解説第5章の施工の規定、道路照明施設設置基準・同解説第7章設計及び施工の規定、道路土工<u>要綱</u>の規定、道路反射鏡設置指針第2章設置方法の規定及び第5章施工の規定、第1編 3-3-12 区画線工及び 3-3-8 縁石工の規定、3-3-13 道路附属物工の規定、第6編 2-9-4 境界工及び 2-10-3 道路植栽工の規定、2-11-4 踏掛版工、2-7-2 ケーブル配管工及び 2-7-3 照明工の規定によらなければならない。</p>
6-37	<p>第8節 区画線工</p> <p>2-8-1 一般事項</p> <p>3. 請負者は、区画線工の施工にあたって、道路標識・区画線及び道路表示に関する命令、道路土工<u>施工指針の施工</u>の規定の規定、第1編 3-3-12 区画線工の規定によらなければならない。</p>	<p>第8節 区画線工</p> <p>2-8-1 一般事項</p> <p>3. 請負者は、区画線工の施工にあたって、道路標識・区画線及び道路表示に関する命令、道路土工<u>要綱 第5章 施工計画</u>の規定、第1編 3-3-12 区画線工の規定によらなければならない。</p>
6-38	<p>第10節 道路植栽工</p> <p>2-10-1 一般事項</p> <p>3. 請負者は、道路植栽工の施工にあたりについては、道路緑化技術基準・同解説第4章設計・施工の規定、道路土工<u>施工指針の施工</u>の規定、第10編 第2章 第1節 植栽工の規定によらなければならない。</p>	<p>第10節 道路植栽工</p> <p>2-10-1 一般事項</p> <p>3. 請負者は、道路植栽工の施工にあたりについては、道路緑化技術基準・同解説第4章設計・施工の規定、道路土工<u>要綱</u>の規定、第10編 第2章 第1節 植栽工の規定によらなければならない。</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂
 第6編 道路編 第3章 橋梁下部

ページ	現行	改訂
6-44	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、次の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 道路橋示方書・同解説（共通編・鋼橋編）（平成14年3月） （省略）</p> <p>日本道路協会 道路橋補修便覧（平成元年8月）</p> <p>日本道路協会 杭基礎施工便覧（平成19年1月）</p> <p>日本道路協会 杭基礎設計便覧（平成19年1月）</p> <p>日本道路協会 鋼管矢板基礎設計施工便覧（平成9年12月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 施工指針（昭和61年11月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 擁壁工指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - カルバート工指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 仮設構造物指針（平成11年3月）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、次の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 道路橋示方書・同解説（共通編・鋼橋編）（平成14年3月） （省略）</p> <p>日本道路協会 道路橋補修便覧（昭和54年2月）</p> <p>日本道路協会 杭基礎施工便覧（平成19年1月）</p> <p>日本道路協会 杭基礎設計便覧（平成19年1月）</p> <p>日本道路協会 鋼管矢板基礎設計施工便覧（平成9年12月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 要綱（平成21年6月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 擁壁工指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - カルバート工指針（平成22年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 仮設構造物指針（平成11年3月）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第6編 道路編 第4章 橋梁上部

ページ	現行	改訂																																							
6-54	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 道路橋示方書・同解説（ 共通編 鋼橋編）(平成14年3月) （省略）</p> <p>日本道路協会 道路照明施設設置基準・同解説（<u>昭和56年4月</u>）</p> <p>日本道路協会 防護柵の設置基準・同解説（平成<u>16年3月</u>） （以下省略）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 道路橋示方書・同解説（ 共通編 鋼橋編）(平成14年3月) （省略）</p> <p>日本道路協会 道路照明施設設置基準・同解説（<u>平成19年10月</u>）</p> <p>日本道路協会 防護柵の設置基準・同解説（平成<u>20年1月</u>） （以下省略）</p>																																							
6-69	<p>4-5-3 現場塗装工</p> <p>13. 請負者は、下記の場合塗装を行ってはならない。これ以外の場合は、設計図書に関して監督員と協議しなければならない。</p> <p>（1）塗装禁止条件は、表4-12に示すとおりとする。</p> <p>表4-12 塗装禁止条件</p>	<p>4-5-3 現場塗装工</p> <p>13. 請負者は、下記の場合塗装を行ってはならない。これ以外の場合は、設計図書に関して監督員と協議しなければならない。</p> <p>（1）塗装禁止条件は、表4-12に示すとおりとする。</p> <p>表4-12 塗装禁止条件</p>																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>気温（ ）</th> <th>湿度 (RH%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長ばく形エッチングプライマー</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント</td> <td>0以下</td> <td>50以下</td> </tr> <tr> <td>有機ジंकリッチペイント</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料内面用</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>超厚膜形エポキシ樹脂塗料</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>（つづく）</p>	塗装の種類	気温（ ）	湿度 (RH%)	長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上	無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント	0以下	50以下	有機ジंकリッチペイント	10以下	85以上	エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料内面用	10以下	85以上	垂鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	5以下	85以上	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	10以下	85以上	<table border="1"> <thead> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>気温（ ）</th> <th>湿度 (RH%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長ばく形エッチングプライマー</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント</td> <td>0以下</td> <td>50以下</td> </tr> <tr> <td>有機ジंकリッチプライマー 有機ジंकリッチペイント</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>耐熱プライマー</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料（水中部用） エポキシ樹脂塗料（大気部用） 変性エポキシ樹脂塗料（水中部用） 変性エポキシ樹脂塗料（大気部用）</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>（つづく）</p>	塗装の種類	気温（ ）	湿度 (RH%)	長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上	無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント	0以下	50以下	有機ジंकリッチプライマー 有機ジंकリッチペイント	10以下	85以上	耐熱プライマー	5以下	85以上	エポキシ樹脂塗料（水中部用） エポキシ樹脂塗料（大気部用） 変性エポキシ樹脂塗料（水中部用） 変性エポキシ樹脂塗料（大気部用）	10以下	85以上
塗装の種類	気温（ ）	湿度 (RH%)																																							
長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上																																							
無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント	0以下	50以下																																							
有機ジंकリッチペイント	10以下	85以上																																							
エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料内面用	10以下	85以上																																							
垂鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	5以下	85以上																																							
超厚膜形エポキシ樹脂塗料	10以下	85以上																																							
塗装の種類	気温（ ）	湿度 (RH%)																																							
長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上																																							
無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント	0以下	50以下																																							
有機ジंकリッチプライマー 有機ジंकリッチペイント	10以下	85以上																																							
耐熱プライマー	5以下	85以上																																							
エポキシ樹脂塗料（水中部用） エポキシ樹脂塗料（大気部用） 変性エポキシ樹脂塗料（水中部用） 変性エポキシ樹脂塗料（大気部用）	10以下	85以上																																							

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂
 第6編 道路編 第4章 橋梁上部

ページ	現行	改訂																																																																					
6-69	<p>表4-12 塗装禁止条件 (つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="235 375 741 454">塗装の種類</th> <th data-bbox="745 375 934 454">気温 ()</th> <th data-bbox="938 375 1111 454">湿度 (RH%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="235 458 741 582">エポキシ樹脂塗料下塗(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料下塗(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料内面用(低音用)</td> <td data-bbox="745 458 934 582">5以下,20以上</td> <td data-bbox="938 458 1111 582">85以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="235 585 741 620">無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料</td> <td data-bbox="745 585 934 620">10以下,30以上</td> <td data-bbox="938 585 1111 620">85以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="235 624 741 659">無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(低音用)</td> <td data-bbox="745 624 934 659">5以下,20以上</td> <td data-bbox="938 624 1111 659">85以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="235 662 741 697">コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー</td> <td data-bbox="745 662 934 697">5以下</td> <td data-bbox="938 662 1111 697">85以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="235 700 741 863">ふっ素樹脂塗料用中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗 コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗</td> <td data-bbox="745 700 934 863">5以下</td> <td data-bbox="938 700 1111 863">85以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="235 866 741 1029">ふっ素樹脂塗料上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗</td> <td data-bbox="745 866 934 1029">0以下</td> <td data-bbox="938 866 1111 1029">85以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="235 1032 741 1150">鉛・クロムフリーさび止めペイント 長油性フタル酸樹脂塗料中塗 長油性フタル酸樹脂塗料上塗</td> <td data-bbox="745 1032 934 1150">5以下</td> <td data-bbox="938 1032 1111 1150">85以上</td> </tr> </tbody> </table>	塗装の種類	気温 ()	湿度 (RH%)	エポキシ樹脂塗料下塗(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料下塗(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料内面用(低音用)	5以下,20以上	85以上	無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	10以下,30以上	85以上	無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(低音用)	5以下,20以上	85以上	コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー	5以下	85以上	ふっ素樹脂塗料用中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗 コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗	5以下	85以上	ふっ素樹脂塗料上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	0以下	85以上	鉛・クロムフリーさび止めペイント 長油性フタル酸樹脂塗料中塗 長油性フタル酸樹脂塗料上塗	5以下	85以上	<p>表4-12 塗装禁止条件 (つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1187 375 1693 454">塗装の種類</th> <th data-bbox="1697 375 1886 454">気温 ()</th> <th data-bbox="1890 375 2063 454">湿度 (RH%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1187 458 1693 620">エポキシ樹脂塗料(水中部用)(低音用) エポキシ樹脂塗料(大気部用)(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料(水中部用)(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料(大気部用)(低音用)</td> <td data-bbox="1697 458 1886 620">5以下,20以上</td> <td data-bbox="1890 458 2063 620">85以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1187 624 1693 659">鉛・クロムフリーさび止めペイント</td> <td data-bbox="1697 624 1886 659">5以下</td> <td data-bbox="1890 624 2063 659">85以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1187 662 1693 697">エポキシMIO塗料</td> <td data-bbox="1697 662 1886 697">10以下</td> <td data-bbox="1890 662 2063 697">85以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1187 700 1693 735">エポキシMIO塗料(低温用)</td> <td data-bbox="1697 700 1886 735">5以下,20以上</td> <td data-bbox="1890 700 2063 735">85以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1187 738 1693 863">エポキシ樹脂塗料中塗 ポリウレタン樹脂塗料用中塗 ふっ素樹脂塗料用中塗</td> <td data-bbox="1697 738 1886 863">5以下</td> <td data-bbox="1890 738 2063 863">85以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1187 866 1693 901">エポキシ樹脂塗料上塗</td> <td data-bbox="1697 866 1886 901">5以下</td> <td data-bbox="1890 866 2063 901">85以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1187 904 1693 987">ポリウレタン樹脂塗料用上塗 ふっ素樹脂塗料用上塗</td> <td data-bbox="1697 904 1886 987">0以下</td> <td data-bbox="1890 904 2063 987">85以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1187 991 1693 1026">長油性フタル酸樹脂塗中塗・上塗</td> <td data-bbox="1697 991 1886 1026">5以下</td> <td data-bbox="1890 991 2063 1026">85以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1187 1029 1693 1112">ガラスフレーク含有塗料用(エポキシ樹脂) ガラスフレーク含有塗料用(ビニルエステル樹脂)</td> <td data-bbox="1697 1029 1886 1112">5以下</td> <td data-bbox="1890 1029 2063 1112">85以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1187 1115 1693 1150">ガラス繊維強化プラスチック(FRP)</td> <td data-bbox="1697 1115 1886 1150">5以下</td> <td data-bbox="1890 1115 2063 1150">85以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1187 1153 1693 1189">超厚膜形エポキシ</td> <td data-bbox="1697 1153 1886 1189">10以下</td> <td data-bbox="1890 1153 2063 1189">85以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1187 1192 1693 1275">耐熱アルミニウム塗料 アルミニウム塗料</td> <td data-bbox="1697 1192 1886 1275">5以下</td> <td data-bbox="1890 1192 2063 1275">85以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1187 1278 1693 1313">シリコン系耐熱塗料</td> <td data-bbox="1697 1278 1886 1313">5以下</td> <td data-bbox="1890 1278 2063 1313">85以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1187 1316 1693 1351">シリコン系汚熱塗料</td> <td data-bbox="1697 1316 1886 1351">5以下</td> <td data-bbox="1890 1316 2063 1351">85以上</td> </tr> </tbody> </table>	塗装の種類	気温 ()	湿度 (RH%)	エポキシ樹脂塗料(水中部用)(低音用) エポキシ樹脂塗料(大気部用)(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料(水中部用)(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料(大気部用)(低音用)	5以下,20以上	85以上	鉛・クロムフリーさび止めペイント	5以下	85以上	エポキシMIO塗料	10以下	85以上	エポキシMIO塗料(低温用)	5以下,20以上	85以上	エポキシ樹脂塗料中塗 ポリウレタン樹脂塗料用中塗 ふっ素樹脂塗料用中塗	5以下	85以上	エポキシ樹脂塗料上塗	5以下	85以上	ポリウレタン樹脂塗料用上塗 ふっ素樹脂塗料用上塗	0以下	85以上	長油性フタル酸樹脂塗中塗・上塗	5以下	85以上	ガラスフレーク含有塗料用(エポキシ樹脂) ガラスフレーク含有塗料用(ビニルエステル樹脂)	5以下	85以上	ガラス繊維強化プラスチック(FRP)	5以下	85以上	超厚膜形エポキシ	10以下	85以上	耐熱アルミニウム塗料 アルミニウム塗料	5以下	85以上	シリコン系耐熱塗料	5以下	85以上	シリコン系汚熱塗料	5以下	85以上
塗装の種類	気温 ()	湿度 (RH%)																																																																					
エポキシ樹脂塗料下塗(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料下塗(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料内面用(低音用)	5以下,20以上	85以上																																																																					
無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	10以下,30以上	85以上																																																																					
無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(低音用)	5以下,20以上	85以上																																																																					
コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー	5以下	85以上																																																																					
ふっ素樹脂塗料用中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗 コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗	5以下	85以上																																																																					
ふっ素樹脂塗料上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	0以下	85以上																																																																					
鉛・クロムフリーさび止めペイント 長油性フタル酸樹脂塗料中塗 長油性フタル酸樹脂塗料上塗	5以下	85以上																																																																					
塗装の種類	気温 ()	湿度 (RH%)																																																																					
エポキシ樹脂塗料(水中部用)(低音用) エポキシ樹脂塗料(大気部用)(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料(水中部用)(低音用) 変性エポキシ樹脂塗料(大気部用)(低音用)	5以下,20以上	85以上																																																																					
鉛・クロムフリーさび止めペイント	5以下	85以上																																																																					
エポキシMIO塗料	10以下	85以上																																																																					
エポキシMIO塗料(低温用)	5以下,20以上	85以上																																																																					
エポキシ樹脂塗料中塗 ポリウレタン樹脂塗料用中塗 ふっ素樹脂塗料用中塗	5以下	85以上																																																																					
エポキシ樹脂塗料上塗	5以下	85以上																																																																					
ポリウレタン樹脂塗料用上塗 ふっ素樹脂塗料用上塗	0以下	85以上																																																																					
長油性フタル酸樹脂塗中塗・上塗	5以下	85以上																																																																					
ガラスフレーク含有塗料用(エポキシ樹脂) ガラスフレーク含有塗料用(ビニルエステル樹脂)	5以下	85以上																																																																					
ガラス繊維強化プラスチック(FRP)	5以下	85以上																																																																					
超厚膜形エポキシ	10以下	85以上																																																																					
耐熱アルミニウム塗料 アルミニウム塗料	5以下	85以上																																																																					
シリコン系耐熱塗料	5以下	85以上																																																																					
シリコン系汚熱塗料	5以下	85以上																																																																					

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第6編 道路編 第5章 コンクリート橋上部

ページ	現 行	改 訂
6-77	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 道路橋示方書・同解説（共通編・コンクリート橋編）（平成14年3月） （省略）</p> <p>日本道路協会 防護柵の設置基準・同解説（平成16年3月）</p> <p>日本道路協会 道路照明施設設置基準・同解説（昭和56年4月） （以下省略）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 道路橋示方書・同解説（共通編・コンクリート橋編）（平成14年3月） （省略）</p> <p>日本道路協会 防護柵の設置基準・同解説（平成20年1月）</p> <p>日本道路協会 道路照明施設設置基準・同解説（平成19年10月） （以下省略）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第6編 道路編 第6章 トンネル（NATM）

ページ	現行	改訂
6-95 ～ 6-96	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>建設省 道路トンネル技術基準（平成元年5月） （省略） 日本道路協会 道路トンネル観察・計測（平成5年11月） （省略） 日本道路協会 道路土工 - カルバート工指針（平成11年3月） （以下省略）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>建設省 道路トンネル技術基準（平成元年5月） （省略） 日本道路協会 道路トンネル観察・計測（平成21年2月） （省略） 日本道路協会 道路土工 - カルバート工指針（平成22年3月） （以下省略）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第6編 道路編 第7章 トンネル（矢板）

ページ	現行	改訂
6-106 ～ 6-107	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>建設省 道路トンネル技術基準（平成元年5月） （省略） 日本道路協会 道路トンネル観察・計測（平成5年11月） （省略） 日本道路協会 道路土工 - カルバート工指針（平成11年3月） （以下省略）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>建設省 道路トンネル技術基準（平成元年5月） （省略） 日本道路協会 道路トンネル観察・計測（平成21年2月） （省略） 日本道路協会 道路土工 - カルバート工指針（平成22年3月） （以下省略）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第6編 道路編 第8章 コンクリートジェット

ページ	現行	改訂
6-111	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 道路橋示方書・同解説（共通編・コンクリート橋編）（平成14年3月）（省略）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - <u>施工指針（昭和61年11月）</u></p> <p><u>日本道路協会 道路土工 - 排水工指針（昭和62年6月）</u></p> <p>日本道路協会 道路土工 - 擁壁工指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - カルバート工指針（平成11年3月）（省略）</p> <p>土木学会 コンクリート標準示方書（設計編）（平成14年3月）</p> <p>土木学会 コンクリート標準示方書（施工編）（平成14年3月）（以下省略）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 道路橋示方書・同解説（共通編・コンクリート橋編）（平成14年3月）（省略）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - <u>要綱（平成21年6月）</u></p> <p><u>（削除）</u></p> <p>日本道路協会 道路土工 - 擁壁工指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - カルバート工指針（平成22年3月）（省略）</p> <p>土木学会 コンクリート標準示方書（設計編）（平成20年3月）</p> <p>土木学会 コンクリート標準示方書（施工編）（平成20年3月）（以下省略）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第6編 道路編 第9章 鋼製ジェット

ページ	現行	改訂
6-115	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 道路橋示方書・同解説（共通編・鋼橋編）（平成14年3月） （省略）</p> <p>日本道路協会 鋼道路橋設計便覧（昭和55年9月） （省略）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 施工指針（昭和61年11月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 擁壁工指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - カルバート工指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 仮設構造物指針（平成11年3月）</p> <p><u>日本道路協会 道路土工 - 排水工指針（昭和62年6月）</u></p> <p>日本道路協会 落石対策便覧（平成12年6月）</p> <p>日本道路協会 道路防雪便覧（平成2年5月）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 道路橋示方書・同解説（共通編・鋼橋編）（平成14年3月） （省略）</p> <p>日本道路協会 鋼道路橋設計便覧（昭和55年8月） （省略）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 要綱（平成21年6月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 擁壁工指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - カルバート工指針（平成22年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 仮設構造物指針（平成11年3月） （削除）</p> <p>日本道路協会 落石対策便覧（平成12年6月）</p> <p>日本道路協会 道路防雪便覧（平成2年5月）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第6編 道路編 第15章 道路維持

ページ	現行	改訂
6-142	<p>第7節 標識工</p> <p>15-7-2 材 料</p> <p>2. 標識工に使用する錆止めペイントは、JIS K 5621（一般用錆止めペイント）から JIS K <u>5628（鉛丹ジंकクロメート錆止めペイント2種）</u>に適合するものを用いるものとする。</p>	<p>第7節 標識工</p> <p>15-7-2 材 料</p> <p>2. 標識工に使用する錆止めペイントは、JIS K 5621（一般用錆止めペイント）から JIS K <u>5674（鉛・クロムフリーさび止めペイント）</u>に適合するものを用いるものとする。</p>
6-143	<p>第8節 道路付属施設工</p> <p>15-8-2 材 料</p> <p>2. 標識工に使用する錆止めペイントは、JIS K 5621（一般用錆止めペイント）から JIS K <u>5628（鉛丹ジंकクロメート錆止めペイント2種）</u>に適合するものを用いるものとする。</p>	<p>第8節 道路付属施設工</p> <p>15-8-2 材 料</p> <p>2. 標識工に使用する錆止めペイントは、JIS K 5621（一般用錆止めペイント）から JIS K <u>5674（鉛・クロムフリーさび止めペイント）</u>に適合するものを用いるものとする。</p>
6-144	<p>第11節 カルバート工</p> <p>15-11-1 一般事項</p> <p>2. カルバートの施工については、道路土工 - カルバート工指針 <u>4-1 施工一般</u>、道路土工 - <u>排水工指針 2-3 道路横断排水</u>の規定によるものとする。</p> <p>15-11-2 材 料</p> <p>プレキャストカルバート工の施工に使用する材料は、設計図書によるものとするが記載なき場合、道路土工 - カルバート工指針 <u>3-1-2 材料</u>と許容応力度の規定によるものとする。</p>	<p>第11節 カルバート工</p> <p>15-11-1 一般事項</p> <p>2. カルバートの施工については、道路土工 - カルバート工指針 <u>7-1 基本方針</u>、道路土工 <u>要綱 2-6 構造物の排水施設の設計、2-7 排水施設の施工</u>の規定によるものとする。</p> <p>15-11-2 材 料</p> <p>プレキャストカルバート工の施工に使用する材料は、設計図書によるものとするが記載なき場合、道路土工 - カルバート工指針 <u>4-4 使用材料</u>、<u>4-5 許容応力度</u>の規定によるものとする。</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第6編 道路編 第17章 道路修繕

ページ	現行	改訂
6-166	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 道路維持修繕要綱（昭和53年7月） 日本道路協会 鋼道路橋塗装・防食便覧（平成17年12月） 日本道路協会 舗装試験法便覧（昭和63年11月） 日本道路協会 路上再生路盤工法技術指針案（案）（昭和62年1月） 日本道路協会 舗装再生便覧（平成16年2月） 日本道路協会 道路橋補修便覧（平成元年8月） （以下省略）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 道路維持修繕要綱（昭和53年7月） 日本道路協会 鋼道路橋塗装・防食便覧（平成17年12月） 日本道路協会 舗装調査・試験法便覧（平成19年6月） 日本道路協会 路上再生路盤工法技術指針案（案）（昭和62年1月） 日本道路協会 舗装再生便覧（平成22年12月） 日本道路協会 道路橋補修便覧（昭和54年2月） （以下省略）</p>
6-170	<p>第8節 標識工</p> <p>17-8-2 材 料</p> <p>2. 標識工に使用する錆止めペイントは、JIS K 5621（一般用錆止めペイント）から JIS K <u>5628（鉛丹ジクロクロメート錆止めペイント2種）</u> に適合するものを用いるものとする。</p>	<p>第8節 標識工</p> <p>17-8-2 材 料</p> <p>2. 標識工に使用する錆止めペイントは、JIS K 5621（一般用錆止めペイント）から JIS K <u>5674（鉛・クロムフリーさび止めペイント）</u> に適合するものを用いるものとする。</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第6編 道路編 第17章 道路修繕

ページ	現行	改訂
6-172	<p>第14節 カルバート工</p> <p>17-14-1 一般事項</p> <p>2. 請負者は、カルバートの施工にあたっては、道路土工 - カルバート工指針 <u>4-1 施工一般</u>、道路土工 - <u>排水工指針 2-3 道路横断排水</u>の規定によらなければならない。</p> <p>17-14-2 材 料</p> <p>請負者は、プレキャストカルバート工の施工に使用する材料は、設計図書によるものとするが記載なき場合、道路土工 - カルバート工指針 <u>3-1-2 材料と許容応力度</u>の規定によらなければならない。</p>	<p>第14節 カルバート工</p> <p>17-14-1 一般事項</p> <p>2. 請負者は、カルバートの施工にあたっては、道路土工 - カルバート工指針 <u>7-1 基本方針</u>、道路土工 <u>要綱 2-6 構造物の排水施設の設計</u>、<u>2-7 排水施設の施工</u>の規定によらなければならない。</p> <p>17-14-2 材 料</p> <p>請負者は、プレキャストカルバート工の施工に使用する材料は、設計図書によるものとするが記載なき場合、道路土工 - カルバート工指針 <u>4-4 使用材料</u>、<u>4-5 許容応力度</u>の規定によらなければならない。</p>
6-173	<p>第15節 法面工</p> <p>17-15-1 一般事項</p> <p>2. 法面の施工にあたって、道路土工 <u>のり面工・斜面安定工指針 3 設計と施工</u>、のり枠工の設計・施工指針第5章施工、グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説第7章施工の規定によるものとする。これ以外の施工方法による場合は、施工前に設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。</p>	<p>第15節 法面工</p> <p>17-15-1 一般事項</p> <p>2. 法面の施工にあたって、道路土工 <u>切土工・斜面安定工指針 のり面工編、斜面安定工編、道路土工 盛土工指針 5-6 盛土のり面の施工</u>、のり枠工の設計・施工指針第5章施工、グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説第7章施工の規定によるものとする。これ以外の施工方法による場合は、施工前に設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第8編 下水道編 第1章 管路

ページ	現行	改訂
<p>8-1 ~ 8-2</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。</p> <p>(共通図書)</p> <p>国土交通省 建設工事公衆災害防止対策要綱(平成5年1月) (省略)</p> <p>国土交通省 仮締切堤設置基準(案)(平成14年5月) (省略)</p> <p>日本道路協会 道路土工 - カルバート指針(平成11年3月)</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 排水工指針(昭和62年6月)</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 施工指針(昭和61年11月)</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 軟弱地盤対策工指針(昭和61年11月)</p> <p>(下水道用図書)</p> <p>(以下省略)</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。</p> <p>(共通図書)</p> <p>国土交通省 建設工事公衆災害防止対策要綱(平成5年1月) (省略)</p> <p>国土交通省 仮締切堤設置基準(案)(平成22年6月) (省略)</p> <p>日本道路協会 道路土工 - カルバート指針(平成22年3月)</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 盛土工指針(平成22年4月)</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 要綱(平成21年6月)</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 軟弱地盤対策工指針(平成19年6月)</p> <p>(下水道用図書)</p> <p>(以下省略)</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第8編 下水道編 第2章 処理場・ポンプ場

ページ	現行	改訂
<p>8-37 ～ 8-38</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、次の基準類によらなければならない。</p> <p>なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>国土交通省 建設工事公衆災害防止対策要綱（平成5年1月） （省略）</p> <p>国土交通省 仮締切堤設置基準（案）（平成14年5月） （省略）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - カルバート工指針（平成11年3月） （省略）</p> <p>日本道路協会 舗装再生便覧（平成16年2月）</p> <p>日本道路協会 転圧コンクリート舗装技術指針（案）（平成2年11月）</p> <p>日本道路協会 アスファルト舗装工事共通仕様書（平成4年12月）</p> <p>日本道路協会 舗装試験法便覧（昭和63年11月） （省略）</p> <p>(社)日本圧接協会 鉄筋のガス圧接工事標準仕様書（平成11年） (社)公共建築協会 公共建築工事標準仕様書（2005年1月）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、次の基準類によらなければならない。</p> <p>なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>国土交通省 建設工事公衆災害防止対策要綱（平成5年1月） （省略）</p> <p>国土交通省 仮締切堤設置基準（案）（平成22年6月） （省略）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - カルバート工指針（平成22年3月） （省略）</p> <p>日本道路協会 舗装再生便覧（平成22年12月）</p> <p>日本道路協会 転圧コンクリート舗装技術指針（案）（平成2年11月）</p> <p>日本道路協会 アスファルト舗装工事共通仕様書（平成4年12月）</p> <p>日本道路協会 舗装調査・試験法便覧（平成19年6月） （省略）</p> <p>(社)日本圧接協会 鉄筋のガス圧接工事標準仕様書（2005年） 国土交通省 公共建築工事標準仕様書（平成22年3月）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第12編 農業農村整備編 第2章 農道工事

ページ	現行	改訂
12-10	<p>第8節 カルバート工</p> <p>2-8-5 プレキャストカルバート工</p> <p>3. 請負者は、プレキャストボックスの縦締め施工については、道路土工 - カルバート工指針 <u>4-2-2(2)</u> 敷設工の規定によらなければならない。これ以外の施工方法による場合は、設計図書に関して、事前に監督員の承諾を得るものとする。</p>	<p>第8節 カルバート工</p> <p>2-8-5 プレキャストカルバート工</p> <p>3. 請負者は、プレキャストボックスの縦締め施工については、道路土工 - カルバート工指針 <u>7-2(2)2</u> 敷設工の規定によらなければならない。これ以外の施工方法による場合は、設計図書に関して、事前に監督員の承諾を得るものとする。</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第12編 農業農村整備編 第5章 管水路工事

ページ	現行	改訂
12-38	<p>5-2-1 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項について、次の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>(1) 土地改良事業計画設計基準・設計「パイプライン」 農林水産省農村振興局（省略）</p> <p>(7) W S P 012 - <u>2006</u>（水道用塗覆装鋼管ジョイントコ-ト）（以下省略）</p>	<p>5-2-1 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項について、次の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>(1) 土地改良事業計画設計基準・設計「パイプライン」 農林水産省農村振興局（省略）</p> <p>(7) W S P 012 - <u>2010</u>（水道用塗覆装鋼管ジョイントコ-ト）（以下省略）</p>
12-43	<p>5-6-2 強化プラスチック複合管布設工</p> <p>2. 鋼製異形管</p> <p>(1) 鋼製異形管、鋼製可とう管の継手、鋼製継輪の製作については、FRPM - G - 1112 - <u>2006</u> <u>又は</u> FRPM - G - 2112 - <u>2006</u> の規定によるものとする。据付については、本章 5-6-4 鋼管布設工の規定によるものとする。</p>	<p>5-6-2 強化プラスチック複合管布設工</p> <p>2. 鋼製異形管</p> <p>(1) 鋼製異形管、鋼製可とう管の継手、鋼製継輪の製作については、FRPM - G - 1112 - <u>2009</u> の規定によるものとする。据付については、本章 5-6-4 鋼管布設工の規定によるものとする。</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂
 第12編 農業農村整備編 第5章 管水路工事

ページ	現行	改訂									
12-46	5-6-4 鋼管布設工 2. 据 付 (1) 据 付 4) 据付けは、W S P 002 - <u>98</u> 及びW S P A - 102 - <u>2005</u> による。	5-6-4 鋼管布設工 2. 据 付 (1) 据 付 4) 据付けは、W S P 002 - <u>2010</u> 及びW S P A - 102 - <u>2009</u> による。									
12-46	(2) 溶 接 1) 溶接棒は、第1編 2-7-7 溶接材料に示す規格に適合するものでかつ、母材に適合するものでなければならない。 また、溶接棒の取り扱いは、W S P 002 - <u>98</u> による。	(2) 溶 接 1) 溶接棒は、第1編 2-7-7 溶接材料に示す規格に適合するものでかつ、母材に適合するものでなければならない。 また、溶接棒の取り扱いは、W S P 002 - <u>2010</u> による。									
12-46	7) 突き合わせ溶接の開先ルート間隔は、W S P 002 - <u>98</u> 及びW S P A - 102 - <u>2005</u> による。	7) 突き合わせ溶接の開先ルート間隔は、W S P 002 - <u>2010</u> 及びW S P A - 102 - <u>2009</u> による。									
12-47	(3) 塗覆装 3) プラスチック被覆鋼管における継手部外面塗覆装は、W S P 012 - <u>2006</u> プラスチック系を基本とする。 <u>なお、施工条件等やむを得ない理由によりプラスチック系が使用できない場合は、ゴム系を使用するものとする。</u> テーパ付き直管の継手部外面塗覆装については、W S P A - 102 - <u>2005</u> による。	(3) 塗覆装 3) プラスチック被覆鋼管における継手部外面塗覆装は、W S P 012 - <u>2010</u> プラスチック系を基本とする。 テーパ付き直管の継手部外面塗覆装については、W S P A - 102 - <u>2009</u> による。									
	<table border="1" data-bbox="313 1054 1086 1374"> <thead> <tr> <th>塗 覆 装 仕 様</th> <th>厚 さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">現場溶接部：ジョイントコート 「水道用塗覆装鋼管ジョイントコート」 (W S P 012 - <u>2006</u>)</td> <td>プラスチック系の場合 基 材：1.5 mm 以上 粘 着 材：1.0 mm 以上</td> </tr> <tr> <td>ゴム系の場合 <u>基 材：1.5 mm 以上</u> <u>粘 着 材：0.8 mm 以上</u> <u>保護シート：2.0 mm 以上</u></td> </tr> </tbody> </table>	塗 覆 装 仕 様	厚 さ	現場溶接部：ジョイントコート 「水道用塗覆装鋼管ジョイントコート」 (W S P 012 - <u>2006</u>)	プラスチック系の場合 基 材：1.5 mm 以上 粘 着 材：1.0 mm 以上	ゴム系の場合 <u>基 材：1.5 mm 以上</u> <u>粘 着 材：0.8 mm 以上</u> <u>保護シート：2.0 mm 以上</u>	<table border="1" data-bbox="1265 975 2038 1177"> <thead> <tr> <th>塗 覆 装 仕 様</th> <th>厚 さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現場溶接部：ジョイントコート 「水道用塗覆装鋼管ジョイントコート」 (W S P 012 - <u>2010</u>)</td> <td>プラスチック系の場合 基 材：1.5 mm 以上 粘 着 材：1.0 mm 以上</td> </tr> </tbody> </table>	塗 覆 装 仕 様	厚 さ	現場溶接部：ジョイントコート 「水道用塗覆装鋼管ジョイントコート」 (W S P 012 - <u>2010</u>)	プラスチック系の場合 基 材：1.5 mm 以上 粘 着 材：1.0 mm 以上
塗 覆 装 仕 様	厚 さ										
現場溶接部：ジョイントコート 「水道用塗覆装鋼管ジョイントコート」 (W S P 012 - <u>2006</u>)	プラスチック系の場合 基 材：1.5 mm 以上 粘 着 材：1.0 mm 以上										
	ゴム系の場合 <u>基 材：1.5 mm 以上</u> <u>粘 着 材：0.8 mm 以上</u> <u>保護シート：2.0 mm 以上</u>										
塗 覆 装 仕 様	厚 さ										
現場溶接部：ジョイントコート 「水道用塗覆装鋼管ジョイントコート」 (W S P 012 - <u>2010</u>)	プラスチック系の場合 基 材：1.5 mm 以上 粘 着 材：1.0 mm 以上										

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第12編 農業農村整備編 第7章 PC橋工事

ページ	現行	改訂																																																																																								
12-65	<p>7-4-8 現場塗装工</p> <p>9. 請負者は、下記の場合塗装を行ってはならない。</p> <p>(1) 塗布作業時の気温、湿度の制限</p> <table border="1" data-bbox="237 408 1113 1310"> <thead> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>気温 ()</th> <th>湿度 (RH%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長ばく形エッチングプライマー</td> <td>5 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>無機ジンクリッチプライマー</td> <td rowspan="2">0 以下</td> <td rowspan="2">50 以下</td> </tr> <tr> <td>無機ジンクリッチペイント</td> </tr> <tr> <td>有機ジンクリッチペイント</td> <td>10 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料下塗</td> <td rowspan="3">10 以下</td> <td rowspan="3">85 以上</td> </tr> <tr> <td>変性エポキシ樹脂塗料下塗</td> </tr> <tr> <td>変性エポキシ樹脂塗料内面用</td> </tr> <tr> <td>垂鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗</td> <td rowspan="2">5 以下</td> <td rowspan="2">85 以上</td> </tr> <tr> <td>弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗</td> </tr> <tr> <td>超厚膜形エポキシ樹脂塗料</td> <td>10 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料下塗 (低音用)</td> <td rowspan="3">5 以下,20 以上</td> <td rowspan="3">85 以上</td> </tr> <tr> <td>変性エポキシ樹脂塗料下塗 (低音用)</td> </tr> <tr> <td>変性エポキシ樹脂塗料内面用 (低音用)</td> </tr> <tr> <td>無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料</td> <td>10 以下,30 以上</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 (低音用)</td> <td>5 以下,20 以上</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー</td> <td>5 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>ふっ素樹脂塗料用中塗</td> <td rowspan="4">5 以下</td> <td rowspan="4">85 以上</td> </tr> <tr> <td>弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗</td> </tr> <tr> <td>コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗</td> </tr> <tr> <td>コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗</td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづく)</p>	塗装の種類	気温 ()	湿度 (RH%)	長ばく形エッチングプライマー	5 以下	85 以上	無機ジンクリッチプライマー	0 以下	50 以下	無機ジンクリッチペイント	有機ジンクリッチペイント	10 以下	85 以上	エポキシ樹脂塗料下塗	10 以下	85 以上	変性エポキシ樹脂塗料下塗	変性エポキシ樹脂塗料内面用	垂鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗	5 以下	85 以上	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	10 以下	85 以上	エポキシ樹脂塗料下塗 (低音用)	5 以下,20 以上	85 以上	変性エポキシ樹脂塗料下塗 (低音用)	変性エポキシ樹脂塗料内面用 (低音用)	無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	10 以下,30 以上	85 以上	無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 (低音用)	5 以下,20 以上	85 以上	コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー	5 以下	85 以上	ふっ素樹脂塗料用中塗	5 以下	85 以上	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗	コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗	<p>7-4-8 現場塗装工</p> <p>9. 請負者は、下記の場合塗装を行ってはならない。</p> <p>(1) 塗布作業時の気温、湿度の制限</p> <table border="1" data-bbox="1189 408 2065 1310"> <thead> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>気温 ()</th> <th>湿度 (RH%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長ばく形エッチングプライマー</td> <td>5 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>無機ジンクリッチプライマー</td> <td rowspan="2">0 以下</td> <td rowspan="2">50 以下</td> </tr> <tr> <td>無機ジンクリッチペイント</td> </tr> <tr> <td>有機ジンクリッチプライマー</td> <td rowspan="2">10 以下</td> <td rowspan="2">85 以上</td> </tr> <tr> <td>有機ジンクリッチペイント</td> </tr> <tr> <td>耐熱プライマー</td> <td>5 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料 (水中部用)</td> <td rowspan="4">10 以下</td> <td rowspan="4">85 以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料 (大気部用)</td> </tr> <tr> <td>変性エポキシ樹脂塗料 (水中部用)</td> </tr> <tr> <td>変性エポキシ樹脂塗料 (大気部用)</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料 (水中部用) (低音用)</td> <td rowspan="4">5 以下,20 以上</td> <td rowspan="4">85 以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料 (大気部用) (低音用)</td> </tr> <tr> <td>変性エポキシ樹脂塗料 (水中部用) (低音用)</td> </tr> <tr> <td>変性エポキシ樹脂塗料 (大気部用) (低音用)</td> </tr> <tr> <td>鉛・クロムフリーさび止めペイント</td> <td>5 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシMIO塗料</td> <td>10 以下</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシMIO塗料 (低温用)</td> <td>5 以下,20 以上</td> <td>85 以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料中塗</td> <td rowspan="3">5 以下</td> <td rowspan="3">85 以上</td> </tr> <tr> <td>ポリウレタン樹脂塗料用中塗</td> </tr> <tr> <td>ふっ素樹脂塗料用中塗</td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづく)</p>	塗装の種類	気温 ()	湿度 (RH%)	長ばく形エッチングプライマー	5 以下	85 以上	無機ジンクリッチプライマー	0 以下	50 以下	無機ジンクリッチペイント	有機ジンクリッチプライマー	10 以下	85 以上	有機ジンクリッチペイント	耐熱プライマー	5 以下	85 以上	エポキシ樹脂塗料 (水中部用)	10 以下	85 以上	エポキシ樹脂塗料 (大気部用)	変性エポキシ樹脂塗料 (水中部用)	変性エポキシ樹脂塗料 (大気部用)	エポキシ樹脂塗料 (水中部用) (低音用)	5 以下,20 以上	85 以上	エポキシ樹脂塗料 (大気部用) (低音用)	変性エポキシ樹脂塗料 (水中部用) (低音用)	変性エポキシ樹脂塗料 (大気部用) (低音用)	鉛・クロムフリーさび止めペイント	5 以下	85 以上	エポキシMIO塗料	10 以下	85 以上	エポキシMIO塗料 (低温用)	5 以下,20 以上	85 以上	エポキシ樹脂塗料中塗	5 以下	85 以上	ポリウレタン樹脂塗料用中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗
塗装の種類	気温 ()	湿度 (RH%)																																																																																								
長ばく形エッチングプライマー	5 以下	85 以上																																																																																								
無機ジンクリッチプライマー	0 以下	50 以下																																																																																								
無機ジンクリッチペイント																																																																																										
有機ジンクリッチペイント	10 以下	85 以上																																																																																								
エポキシ樹脂塗料下塗	10 以下	85 以上																																																																																								
変性エポキシ樹脂塗料下塗																																																																																										
変性エポキシ樹脂塗料内面用																																																																																										
垂鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗	5 以下	85 以上																																																																																								
弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗																																																																																										
超厚膜形エポキシ樹脂塗料	10 以下	85 以上																																																																																								
エポキシ樹脂塗料下塗 (低音用)	5 以下,20 以上	85 以上																																																																																								
変性エポキシ樹脂塗料下塗 (低音用)																																																																																										
変性エポキシ樹脂塗料内面用 (低音用)																																																																																										
無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	10 以下,30 以上	85 以上																																																																																								
無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 (低音用)	5 以下,20 以上	85 以上																																																																																								
コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー	5 以下	85 以上																																																																																								
ふっ素樹脂塗料用中塗	5 以下	85 以上																																																																																								
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗																																																																																										
コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗																																																																																										
コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗																																																																																										
塗装の種類	気温 ()	湿度 (RH%)																																																																																								
長ばく形エッチングプライマー	5 以下	85 以上																																																																																								
無機ジンクリッチプライマー	0 以下	50 以下																																																																																								
無機ジンクリッチペイント																																																																																										
有機ジンクリッチプライマー	10 以下	85 以上																																																																																								
有機ジンクリッチペイント																																																																																										
耐熱プライマー	5 以下	85 以上																																																																																								
エポキシ樹脂塗料 (水中部用)	10 以下	85 以上																																																																																								
エポキシ樹脂塗料 (大気部用)																																																																																										
変性エポキシ樹脂塗料 (水中部用)																																																																																										
変性エポキシ樹脂塗料 (大気部用)																																																																																										
エポキシ樹脂塗料 (水中部用) (低音用)	5 以下,20 以上	85 以上																																																																																								
エポキシ樹脂塗料 (大気部用) (低音用)																																																																																										
変性エポキシ樹脂塗料 (水中部用) (低音用)																																																																																										
変性エポキシ樹脂塗料 (大気部用) (低音用)																																																																																										
鉛・クロムフリーさび止めペイント	5 以下	85 以上																																																																																								
エポキシMIO塗料	10 以下	85 以上																																																																																								
エポキシMIO塗料 (低温用)	5 以下,20 以上	85 以上																																																																																								
エポキシ樹脂塗料中塗	5 以下	85 以上																																																																																								
ポリウレタン樹脂塗料用中塗																																																																																										
ふっ素樹脂塗料用中塗																																																																																										

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂
 第12編 農業農村整備編 第7章 PC橋工事

ページ	現行	改訂																																							
12-65	<p>(1) 塗布作業時の気温、湿度の制限 (つづき)</p> <table border="1" data-bbox="237 373 1113 743"> <thead> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>気温 ()</th> <th>湿度 (RH%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ふっ素樹脂塗料上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗 </td> <td>0以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td> 鉛・クロムフリーさび止めペイント 長油性フタル酸樹脂塗料中塗 長油性フタル酸樹脂塗料上塗 </td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> </tbody> </table>	塗装の種類	気温 ()	湿度 (RH%)	ふっ素樹脂塗料上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	0以下	85以上	鉛・クロムフリーさび止めペイント 長油性フタル酸樹脂塗料中塗 長油性フタル酸樹脂塗料上塗	5以下	85以上	<p>(1) 塗布作業時の気温、湿度の制限 (つづき)</p> <table border="1" data-bbox="1189 373 2065 954"> <thead> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>気温 ()</th> <th>湿度 (RH%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料上塗</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td> ポリウレタン樹脂塗料用上塗 ふっ素樹脂塗料用上塗 </td> <td>0以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>長油性フタル酸樹脂塗中塗・上塗</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td> ガラスフレーク含有塗料用(エポキシ樹脂) ガラスフレーク含有塗料用(ビニルエステル樹脂) </td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>ガラス繊維強化プラスチック(FRP)</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>超厚膜形エポキシ</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td> 耐熱アルミニウム塗料 アルミニウム塗料 </td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>シリコン系耐熱塗料</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>シリコン系汚熱塗料</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> </tbody> </table>	塗装の種類	気温 ()	湿度 (RH%)	エポキシ樹脂塗料上塗	5以下	85以上	ポリウレタン樹脂塗料用上塗 ふっ素樹脂塗料用上塗	0以下	85以上	長油性フタル酸樹脂塗中塗・上塗	5以下	85以上	ガラスフレーク含有塗料用(エポキシ樹脂) ガラスフレーク含有塗料用(ビニルエステル樹脂)	5以下	85以上	ガラス繊維強化プラスチック(FRP)	5以下	85以上	超厚膜形エポキシ	10以下	85以上	耐熱アルミニウム塗料 アルミニウム塗料	5以下	85以上	シリコン系耐熱塗料	5以下	85以上	シリコン系汚熱塗料	5以下	85以上
塗装の種類	気温 ()	湿度 (RH%)																																							
ふっ素樹脂塗料上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	0以下	85以上																																							
鉛・クロムフリーさび止めペイント 長油性フタル酸樹脂塗料中塗 長油性フタル酸樹脂塗料上塗	5以下	85以上																																							
塗装の種類	気温 ()	湿度 (RH%)																																							
エポキシ樹脂塗料上塗	5以下	85以上																																							
ポリウレタン樹脂塗料用上塗 ふっ素樹脂塗料用上塗	0以下	85以上																																							
長油性フタル酸樹脂塗中塗・上塗	5以下	85以上																																							
ガラスフレーク含有塗料用(エポキシ樹脂) ガラスフレーク含有塗料用(ビニルエステル樹脂)	5以下	85以上																																							
ガラス繊維強化プラスチック(FRP)	5以下	85以上																																							
超厚膜形エポキシ	10以下	85以上																																							
耐熱アルミニウム塗料 アルミニウム塗料	5以下	85以上																																							
シリコン系耐熱塗料	5以下	85以上																																							
シリコン系汚熱塗料	5以下	85以上																																							

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第12編 農業農村整備編 第8章 橋梁下部工事

ページ	現行	改訂
12-72	<p>第2節 一般事項</p> <p>8-2-1 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、次の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>(社)日本道路協会 道路橋示方書・同解説(共通編 鋼橋編) (省略)</p> <p>(社)日本道路協会 道路土工 - <u>施工指針</u> (以下省略)</p>	<p>第2節 一般事項</p> <p>8-2-1 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、次の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>(社)日本道路協会 道路橋示方書・同解説(共通編 鋼橋編) (省略)</p> <p>(社)日本道路協会 道路土工 - <u>盛土工指針</u> (以下省略)</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第12編 農業農村整備編 第10章 機場下部工事

ページ	現行	改訂
12-84	<p>第2節 一般事項</p> <p>10-2-1 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、次の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>農林水産省農村振興局 土地改良事業計画設計基準 ポンプ場 (省略)</p> <p>(社)日本道路協会 道路土工 - <u>施工指針</u> (以下省略)</p>	<p>第2節 一般事項</p> <p>10-2-1 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、次の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>農林水産省農村振興局 土地改良事業計画設計基準 ポンプ場 (省略)</p> <p>(社)日本道路協会 道路土工 - <u>盛土工指針</u> (以下省略)</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第14編 林道編 第1章 道路開設・改良

ページ	現行	改訂
14-1	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>土質工学会 グラウンドアンカー設計・施工基準，同解説（平成12年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 施工指針（昭和61年11月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 のり面工・斜面安定工指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 擁壁（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 カルバート工指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 仮設構造物工指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 排水工指針（昭和62年6月）</p> <p>（省略）</p> <p>土木研究センター 多数アンカ - 式補強土壁工法設計・施工マニュアル（平成10年11月）</p> <p>（以下省略）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>土質工学会 グラウンドアンカー設計・施工基準，同解説（平成12年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 要綱（平成21年6月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 切土工・斜面安定工指針（平成21年6月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 擁壁工指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 カルバート工指針（平成22年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 仮設構造物工指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 盛土工指針（平成22年4月）</p> <p>（省略）</p> <p>土木研究センター 多数アンカ - 式補強土壁工法設計・施工マニュアル（平成14年10月）</p> <p>（以下省略）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第14編 林道編 第1章 道路開設・改良

ページ	現行	改訂
14-7	<p>第6節 カルバート工</p> <p>1-6-1 一般事項</p> <p>2. 請負者は、カルバートの施工にあたっては、道路土工 - カルバート工指針 4-1 施工一般、道路土工 - 排水工指針 2-3 道路横断排水の規定によらなければならない。</p> <p>1-6-2 材料</p> <p>請負者は、プレキャストカルバート工の施工に使用する材料は、設計図書によるものとするが、記載なき場合、道路土工 - カルバート工指針 3-1-2 材料と許容応力度の規定によらなければならない。</p>	<p>第6節 カルバート工</p> <p>1-6-1 一般事項</p> <p>2. 請負者は、カルバートの施工にあたっては、道路土工 - カルバート工指針 7-1 基本方針、道路土工 要綱 2-7 排水施設の施工の規定によらなければならない。</p> <p>1-6-2 材料</p> <p>請負者は、プレキャストカルバート工の施工に使用する材料は、設計図書によるものとするが、記載なき場合、道路土工 - カルバート工指針 4-4 使用材料、4-5 許容応力度の規定によらなければならない。</p>
14-8	<p>1-6-7 プレキャストカルバート工</p> <p>3. 請負者は、プレキャストボックスカルバートの縦締め施工については、道路土工 - カルバート工指針 4-2-2(2)敷設工の規定によらなければならない。これ以外の施工方法による場合は、施工前に設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。</p>	<p>1-6-7 プレキャストカルバート工</p> <p>3. 請負者は、プレキャストボックスカルバートの縦締め施工については、道路土工 - カルバート工指針 7-2-(2) 2敷設工の規定によらなければならない。これ以外の施工方法による場合は、施工前に設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第14編 林道編 第2章 舗装

ページ	現行	改訂
14-17	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 舗装設計施工指針（平成18年2月） （省略）</p> <p>日本道路協会 道路土工 排水工指針（昭和62年6月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 <u>施工指針（昭和61年11月）</u> （省略）</p> <p>日本道路協会 舗装再生便覧（平成16年2月）</p> <p>日本道路協会 舗装試験法便覧（<u>昭和63年11月</u>）</p> <p>日本道路協会 道路照明施設設置基準・同解説（<u>昭和56年4月</u>） （省略）</p> <p>建設省 防護柵の設置基準の改訂について（平成10年11月）</p> <p>日本道路協会 防護柵の設置基準・同解説（平成16年3月） （省略）</p> <p>日本道路協会 舗装試験法便覧 別冊（平成8年10月） （以下省略）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 舗装設計施工指針（平成18年2月） （省略）</p> <p>（削除）</p> <p>日本道路協会 道路土工 <u>要綱（平成21年6月）</u> （省略）</p> <p>日本道路協会 舗装再生便覧（平成22年12月）</p> <p>日本道路協会 舗装調査・試験法便覧（平成19年6月）</p> <p>日本道路協会 道路照明施設設置基準・同解説（平成19年10月） （省略）</p> <p>建設省 防護柵の設置基準の改定について（平成16年3月）</p> <p>日本道路協会 防護柵の設置基準・同解説（平成20年1月） （省略）</p> <p>（削除） （以下省略）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第14編 林道編 第3章 橋梁下部

ページ	現行	改訂
14-31	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 道路橋示方書（共通編・鋼橋編）・同解説（平成14年3月） （省略）</p> <p>日本道路協会 道路橋補修便覧（平成元年8月） （省略）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 施工指針（昭和61年11月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 擁壁工指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - カルバート工指針（平成11年3月） （以下省略）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 道路橋示方書（共通編・鋼橋編）・同解説（平成14年3月） （省略）</p> <p>日本道路協会 道路橋補修便覧（昭和54年2月） （省略）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 要綱（平成21年6月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 擁壁工指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - カルバート工指針（平成22年3月） （以下省略）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第14編 林道編 第4章 鋼橋上部

ページ	現行	改訂																																							
14-41	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 道路橋示方書・同解説（ 共通編 鋼橋編）(平成14年3月) （省略）</p> <p>日本道路協会 道路照明施設設置基準・同解説（<u>昭和56年4月</u>）</p> <p>日本道路協会 防護柵の設置基準・同解説（平成<u>16年3月</u>） （以下省略）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 道路橋示方書・同解説（ 共通編 鋼橋編）(平成14年3月) （省略）</p> <p>日本道路協会 道路照明施設設置基準・同解説（<u>平成19年10月</u>）</p> <p>日本道路協会 防護柵の設置基準・同解説（平成<u>20年1月</u>） （以下省略）</p>																																							
14-57	<p>4-5-3 現場塗装工</p> <p>14. 請負者は、下記の場合塗装を行ってはならない。これ以外の場合は、設計図書に関して監督員と協議しなければならない。</p> <p>塗装禁止条件は、表4-12に示すとおりである。</p> <p style="text-align: center;">表4-12 塗装禁止条件</p> <table border="1" data-bbox="235 893 1108 1388"> <thead> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>気温（ ）</th> <th>湿度 (RH%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長ばく形エッチングプライマー</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント</td> <td>0以下</td> <td>50以下</td> </tr> <tr> <td>有機ジंकリッチペイント</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料内面用</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>超厚膜形エポキシ樹脂塗料</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづく)</p>	塗装の種類	気温（ ）	湿度 (RH%)	長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上	無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント	0以下	50以下	有機ジंकリッチペイント	10以下	85以上	エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料内面用	10以下	85以上	亜鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	5以下	85以上	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	10以下	85以上	<p>4-5-3 現場塗装工</p> <p>14. 請負者は、下記の場合塗装を行ってはならない。これ以外の場合は、設計図書に関して監督員と協議しなければならない。</p> <p>塗装禁止条件は、表4-12に示すとおりである。</p> <p style="text-align: center;">表4-12 塗装禁止条件</p> <table border="1" data-bbox="1187 893 2060 1388"> <thead> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>気温（ ）</th> <th>湿度 (RH%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長ばく形エッチングプライマー</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント</td> <td>0以下</td> <td>50以下</td> </tr> <tr> <td>有機ジंकリッチプライマー 有機ジंकリッチペイント</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>耐熱プライマー</td> <td>5以下</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>エポキシ樹脂塗料（水中部用） エポキシ樹脂塗料（大気部用） 変性エポキシ樹脂塗料（水中部用） 変性エポキシ樹脂塗料（大気部用）</td> <td>10以下</td> <td>85以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(つづく)</p>	塗装の種類	気温（ ）	湿度 (RH%)	長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上	無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント	0以下	50以下	有機ジंकリッチプライマー 有機ジंकリッチペイント	10以下	85以上	耐熱プライマー	5以下	85以上	エポキシ樹脂塗料（水中部用） エポキシ樹脂塗料（大気部用） 変性エポキシ樹脂塗料（水中部用） 変性エポキシ樹脂塗料（大気部用）	10以下	85以上
塗装の種類	気温（ ）	湿度 (RH%)																																							
長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上																																							
無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント	0以下	50以下																																							
有機ジंकリッチペイント	10以下	85以上																																							
エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料下塗 変性エポキシ樹脂塗料内面用	10以下	85以上																																							
亜鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	5以下	85以上																																							
超厚膜形エポキシ樹脂塗料	10以下	85以上																																							
塗装の種類	気温（ ）	湿度 (RH%)																																							
長ばく形エッチングプライマー	5以下	85以上																																							
無機ジंकリッチプライマー 無機ジंकリッチペイント	0以下	50以下																																							
有機ジंकリッチプライマー 有機ジंकリッチペイント	10以下	85以上																																							
耐熱プライマー	5以下	85以上																																							
エポキシ樹脂塗料（水中部用） エポキシ樹脂塗料（大気部用） 変性エポキシ樹脂塗料（水中部用） 変性エポキシ樹脂塗料（大気部用）	10以下	85以上																																							

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第14編 林道編 第4章 鋼橋上部

ページ	現行	改訂																																																																														
14-57	<p>表4-12 塗装禁止条件 (つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="237 373 741 456">塗装の種類</th> <th data-bbox="741 373 936 456">気温 ()</th> <th data-bbox="936 373 1111 456">湿度 (RH%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="237 456 741 580">エポキシ樹脂塗料下塗 (低音用) 変性エポキシ樹脂塗料下塗 (低音用) 変性エポキシ樹脂塗料内面用 (低音用)</td> <td data-bbox="741 456 936 580">5 以下,20 以上</td> <td data-bbox="936 456 1111 580">85 以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="237 580 741 619">無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料</td> <td data-bbox="741 580 936 619">10 以下,30 以上</td> <td data-bbox="936 580 1111 619">85 以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="237 619 741 657">無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 (低音用)</td> <td data-bbox="741 619 936 657">5 以下,20 以上</td> <td data-bbox="936 619 1111 657">85 以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="237 657 741 695">コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー</td> <td data-bbox="741 657 936 695">5 以下</td> <td data-bbox="936 657 1111 695">85 以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="237 695 741 865">ふっ素樹脂塗料用中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗 コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗</td> <td data-bbox="741 695 936 865">5 以下</td> <td data-bbox="936 695 1111 865">85 以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="237 865 741 1027">ふっ素樹脂塗料上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗</td> <td data-bbox="741 865 936 1027">0 以下</td> <td data-bbox="936 865 1111 1027">85 以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="237 1027 741 1152">鉛・クロムフリーさび止めペイント 長油性フタル酸樹脂塗料中塗 長油性フタル酸樹脂塗料上塗</td> <td data-bbox="741 1027 936 1152">5 以下</td> <td data-bbox="936 1027 1111 1152">85 以上</td> </tr> </tbody> </table>	塗装の種類	気温 ()	湿度 (RH%)	エポキシ樹脂塗料下塗 (低音用) 変性エポキシ樹脂塗料下塗 (低音用) 変性エポキシ樹脂塗料内面用 (低音用)	5 以下,20 以上	85 以上	無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	10 以下,30 以上	85 以上	無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 (低音用)	5 以下,20 以上	85 以上	コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー	5 以下	85 以上	ふっ素樹脂塗料用中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗 コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗	5 以下	85 以上	ふっ素樹脂塗料上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	0 以下	85 以上	鉛・クロムフリーさび止めペイント 長油性フタル酸樹脂塗料中塗 長油性フタル酸樹脂塗料上塗	5 以下	85 以上	<p>表4-12 塗装禁止条件 (つづき)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1189 373 1693 456">塗装の種類</th> <th data-bbox="1693 373 1888 456">気温 ()</th> <th data-bbox="1888 373 2063 456">湿度 (RH%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1189 456 1693 619">エポキシ樹脂塗料 (水中部用) (低音用) エポキシ樹脂塗料 (大気部用) (低音用) 変性エポキシ樹脂塗料 (水中部用) (低音用) 変性エポキシ樹脂塗料 (大気部用) (低音用)</td> <td data-bbox="1693 456 1888 619">5 以下,20 以上</td> <td data-bbox="1888 456 2063 619">85 以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 619 1693 657">鉛・クロムフリーさび止めペイント</td> <td data-bbox="1693 619 1888 657">5 以下</td> <td data-bbox="1888 619 2063 657">85 以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 657 1693 695">エポキシMIO塗料</td> <td data-bbox="1693 657 1888 695">10 以下</td> <td data-bbox="1888 657 2063 695">85 以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 695 1693 734">エポキシMIO塗料 (低温用)</td> <td data-bbox="1693 695 1888 734">5 以下,20 以上</td> <td data-bbox="1888 695 2063 734">85 以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 734 1693 865">エポキシ樹脂塗料中塗 ポリウレタン樹脂塗料用中塗 ふっ素樹脂塗料用中塗</td> <td data-bbox="1693 734 1888 865">5 以下</td> <td data-bbox="1888 734 2063 865">85 以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 865 1693 903">エポキシ樹脂塗料上塗</td> <td data-bbox="1693 865 1888 903">5 以下</td> <td data-bbox="1888 865 2063 903">85 以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 903 1693 941">ポリウレタン樹脂塗料用上塗</td> <td data-bbox="1693 903 1888 941">0 以下</td> <td data-bbox="1888 903 2063 941">85 以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 941 1693 979">ふっ素樹脂塗料用上塗</td> <td data-bbox="1693 941 1888 979">0 以下</td> <td data-bbox="1888 941 2063 979">85 以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 979 1693 1018">長油性フタル酸樹脂塗中塗・上塗</td> <td data-bbox="1693 979 1888 1018">5 以下</td> <td data-bbox="1888 979 2063 1018">85 以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 1018 1693 1056">ガラスフレーク含有塗料用 (エポキシ樹脂)</td> <td data-bbox="1693 1018 1888 1056">5 以下</td> <td data-bbox="1888 1018 2063 1056">85 以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 1056 1693 1094">ガラスフレーク含有塗料用 (ビニルエステル樹脂)</td> <td data-bbox="1693 1056 1888 1094">5 以下</td> <td data-bbox="1888 1056 2063 1094">85 以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 1094 1693 1133">ガラス繊維強化プラスチック (FRP)</td> <td data-bbox="1693 1094 1888 1133">5 以下</td> <td data-bbox="1888 1094 2063 1133">85 以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 1133 1693 1171">超厚膜形エポキシ</td> <td data-bbox="1693 1133 1888 1171">10 以下</td> <td data-bbox="1888 1133 2063 1171">85 以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 1171 1693 1209">耐熱アルミニウム塗料</td> <td data-bbox="1693 1171 1888 1209">5 以下</td> <td data-bbox="1888 1171 2063 1209">85 以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 1209 1693 1248">アルミニウム塗料</td> <td data-bbox="1693 1209 1888 1248">5 以下</td> <td data-bbox="1888 1209 2063 1248">85 以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 1248 1693 1286">シリコン系耐熱塗料</td> <td data-bbox="1693 1248 1888 1286">5 以下</td> <td data-bbox="1888 1248 2063 1286">85 以上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 1286 1693 1324">シリコン系汚熱塗料</td> <td data-bbox="1693 1286 1888 1324">5 以下</td> <td data-bbox="1888 1286 2063 1324">85 以上</td> </tr> </tbody> </table>	塗装の種類	気温 ()	湿度 (RH%)	エポキシ樹脂塗料 (水中部用) (低音用) エポキシ樹脂塗料 (大気部用) (低音用) 変性エポキシ樹脂塗料 (水中部用) (低音用) 変性エポキシ樹脂塗料 (大気部用) (低音用)	5 以下,20 以上	85 以上	鉛・クロムフリーさび止めペイント	5 以下	85 以上	エポキシMIO塗料	10 以下	85 以上	エポキシMIO塗料 (低温用)	5 以下,20 以上	85 以上	エポキシ樹脂塗料中塗 ポリウレタン樹脂塗料用中塗 ふっ素樹脂塗料用中塗	5 以下	85 以上	エポキシ樹脂塗料上塗	5 以下	85 以上	ポリウレタン樹脂塗料用上塗	0 以下	85 以上	ふっ素樹脂塗料用上塗	0 以下	85 以上	長油性フタル酸樹脂塗中塗・上塗	5 以下	85 以上	ガラスフレーク含有塗料用 (エポキシ樹脂)	5 以下	85 以上	ガラスフレーク含有塗料用 (ビニルエステル樹脂)	5 以下	85 以上	ガラス繊維強化プラスチック (FRP)	5 以下	85 以上	超厚膜形エポキシ	10 以下	85 以上	耐熱アルミニウム塗料	5 以下	85 以上	アルミニウム塗料	5 以下	85 以上	シリコン系耐熱塗料	5 以下	85 以上	シリコン系汚熱塗料	5 以下	85 以上
塗装の種類	気温 ()	湿度 (RH%)																																																																														
エポキシ樹脂塗料下塗 (低音用) 変性エポキシ樹脂塗料下塗 (低音用) 変性エポキシ樹脂塗料内面用 (低音用)	5 以下,20 以上	85 以上																																																																														
無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	10 以下,30 以上	85 以上																																																																														
無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 (低音用)	5 以下,20 以上	85 以上																																																																														
コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー	5 以下	85 以上																																																																														
ふっ素樹脂塗料用中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗 コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗	5 以下	85 以上																																																																														
ふっ素樹脂塗料上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗 コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	0 以下	85 以上																																																																														
鉛・クロムフリーさび止めペイント 長油性フタル酸樹脂塗料中塗 長油性フタル酸樹脂塗料上塗	5 以下	85 以上																																																																														
塗装の種類	気温 ()	湿度 (RH%)																																																																														
エポキシ樹脂塗料 (水中部用) (低音用) エポキシ樹脂塗料 (大気部用) (低音用) 変性エポキシ樹脂塗料 (水中部用) (低音用) 変性エポキシ樹脂塗料 (大気部用) (低音用)	5 以下,20 以上	85 以上																																																																														
鉛・クロムフリーさび止めペイント	5 以下	85 以上																																																																														
エポキシMIO塗料	10 以下	85 以上																																																																														
エポキシMIO塗料 (低温用)	5 以下,20 以上	85 以上																																																																														
エポキシ樹脂塗料中塗 ポリウレタン樹脂塗料用中塗 ふっ素樹脂塗料用中塗	5 以下	85 以上																																																																														
エポキシ樹脂塗料上塗	5 以下	85 以上																																																																														
ポリウレタン樹脂塗料用上塗	0 以下	85 以上																																																																														
ふっ素樹脂塗料用上塗	0 以下	85 以上																																																																														
長油性フタル酸樹脂塗中塗・上塗	5 以下	85 以上																																																																														
ガラスフレーク含有塗料用 (エポキシ樹脂)	5 以下	85 以上																																																																														
ガラスフレーク含有塗料用 (ビニルエステル樹脂)	5 以下	85 以上																																																																														
ガラス繊維強化プラスチック (FRP)	5 以下	85 以上																																																																														
超厚膜形エポキシ	10 以下	85 以上																																																																														
耐熱アルミニウム塗料	5 以下	85 以上																																																																														
アルミニウム塗料	5 以下	85 以上																																																																														
シリコン系耐熱塗料	5 以下	85 以上																																																																														
シリコン系汚熱塗料	5 以下	85 以上																																																																														

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂
 第14編 林道編 第5章 コンクリート橋上部

ページ	現行	改訂
14-65	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 道路橋示方書・同解説（共通編・コンクリート橋編）（平成14年3月） （省略）</p> <p>日本道路協会 防護柵の設置基準・同解説（平成16年3月）</p> <p>日本道路協会 道路照明施設設置基準・同解説（昭和56年4月） （以下省略）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>日本道路協会 道路橋示方書・同解説（共通編・コンクリート橋編）（平成14年3月） （省略）</p> <p>日本道路協会 防護柵の設置基準・同解説（平成20年1月）</p> <p>日本道路協会 道路照明施設設置基準・同解説（平成19年10月） （以下省略）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第14編 林道編 第6章 トンネル（NATM）

ページ	現行	改訂
14-85	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>建設省 道路トンネル技術基準（平成元年5月）</p> <p>日本道路協会 道路トンネル技術基準（構造編）・同解説（平成15年11月）</p> <p>日本道路協会 道路トンネル技術基準（換気編）・同解説（平成13年10月）</p> <p>（省略）</p> <p>日本道路協会 道路トンネル観察・計測指針（平成5年11月）</p> <p>（省略）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - カルバート工指針（平成11年3月）</p> <p>（以下省略）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>建設省 道路トンネル技術基準（平成元年5月）</p> <p>日本道路協会 道路トンネル技術基準（構造編）・同解説（平成15年11月）</p> <p>日本道路協会 道路トンネル技術基準（換気編）・同解説（平成20年10月）</p> <p>（省略）</p> <p>日本道路協会 道路トンネル観察・計測指針（平成21年2月）</p> <p>（省略）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - カルバート工指針（平成22年3月）</p> <p>（以下省略）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第14編 林道編 第7章 トンネル（矢板）

ページ	現行	改訂
14-96 ～ 14-97	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>建設省 道路トンネル技術基準（平成元年5月）</p> <p>日本道路協会 道路トンネル技術基準（構造編）・同解説（平成15年11月）</p> <p>日本道路協会 道路トンネル技術基準（換気編）・同解説（平成13年10月）</p> <p>（省略）</p> <p>日本道路協会 道路トンネル観察・計測指針（平成5年11月）</p> <p>（省略）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - カルバート工指針（平成11年3月）</p> <p>（以下省略）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>建設省 道路トンネル技術基準（平成元年5月）</p> <p>日本道路協会 道路トンネル技術基準（構造編）・同解説（平成15年11月）</p> <p>日本道路協会 道路トンネル技術基準（換気編）・同解説（平成20年10月）</p> <p>（省略）</p> <p>日本道路協会 道路トンネル観察・計測指針（平成21年2月）</p> <p>（省略）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - カルバート工指針（平成22年3月）</p> <p>（以下省略）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第15編 治山編 第1章 渓間工

ページ	現行	改訂
15-1	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>土木学会 コンクリート標準示方書（ダム・コンクリート編）（平成14年3月） 土木学会 コンクリート標準示方書（施工編）（平成14年3月） 日本道路協会 道路橋示方書・同解説（共通編 鋼橋編）（平成14年3月） 日本道路協会 鋼道路橋塗装便覧（平成17年12月） 日本道路協会 道路土工 - 擁壁工指針（平成11年3月） 日本道路協会 道路土工 - カルバート工指針（平成11年3月） 日本道路協会 道路土工 - 仮設構造物工指針（平成11年3月） 日本治山治水協会 治山技術基準解説（総則・山地治山編）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>土木学会 コンクリート標準示方書（ダム・コンクリート編）（平成20年3月） 土木学会 コンクリート標準示方書（施工編）（平成20年3月） 日本道路協会 道路橋示方書・同解説（共通編 鋼橋編）（平成14年3月） 日本道路協会 鋼道路橋塗装・防食便覧（平成17年12月） 日本道路協会 道路土工 - 擁壁工指針（平成11年3月） 日本道路協会 道路土工 - カルバート工指針（平成22年3月） 日本道路協会 道路土工 - 仮設構造物工指針（平成11年3月） 日本治山治水協会 治山技術基準解説（総則・山地治山編）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂

第15編 治山編 第3章 地すべり防止工

ページ	現行	改訂
15-23	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>全国治水砂防協会 <u>急傾斜地崩壊防止工事技術指針</u>（平成8年7月）</p> <p>全国特定法面保護協会 のり枠工の設計施工指針（平成15年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 擁壁工指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - カルバート指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - <u>排水工指針</u>（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - <u>のり面</u>・斜面安定工指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 仮設構造物工指針（平成11年3月）</p> <p>土木研究センター 補強土（テールアルメ）壁工法設計・施工マニュアル（平成15年11月）</p> <p>地盤工学会 グランドアンカー設計・施工基準・同解説（平成12年3月）</p> <p>PCフレーム協会 PCフレームアンカー工法 設計・施工の手引き（平成17年7月）</p> <p>斜面防災対策技術協会 地すべり鋼管杭設計要領（平成15年度版）（平成15年6月）</p> <p>斜面防災対策技術協会 地すべり対策技術設計実施要領（<u>第三分冊</u>）（平成8年度版）（平成8年4月）</p> <p><u>地すべり対策技術協会 地すべり対策技術設計実施要領（第四分冊）</u>（平成8年4月）</p> <p>日本治山治水協会 治山技術基準解説（総則・山地治山編）</p> <p>日本治山治水協会 治山技術基準解説（地すべり防止編）</p>	<p>第2節 適用すべき諸基準</p> <p>請負者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として、設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。</p> <p>全国治水砂防協会 <u>新・斜面崩壊防止工事の設計と実例</u>（平成19年9月）</p> <p>全国特定法面保護協会 のり枠工の設計施工指針（平成18年11月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 擁壁工指針（平成11年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - カルバート指針（平成22年3月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - <u>盛土工指針</u>（平成22年4月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - <u>切土工</u>・斜面安定工指針（平成21年6月）</p> <p>日本道路協会 道路土工 - 仮設構造物工指針（平成11年3月）</p> <p>土木研究センター 補強土（テールアルメ）壁工法設計・施工マニュアル（平成15年11月）</p> <p>地盤工学会 グランドアンカー設計・施工基準・同解説（平成12年3月）</p> <p>PCフレーム協会 PCフレームアンカー工法 設計・施工の手引き（平成17年7月）</p> <p>斜面防災対策技術協会 地すべり鋼管杭設計要領（平成20年5月）</p> <p>斜面防災対策技術協会 地すべり対策技術設計実施要領（平成19年12月）</p> <p>（削除）</p> <p>日本治山治水協会 治山技術基準解説（総則・山地治山編）</p> <p>日本治山治水協会 治山技術基準解説（地すべり防止編）</p>

三重県公共工事共通仕様書（平成21年7月）一部改訂
 出来形管理基準及び規格値 第12編 農業農村整備編

ページ	現行	改訂																																								
172	12-5-6 管水路工事 (ア) 管水路(コンクリート二次製品)ジョイント間隔管理規格値 <table border="1" data-bbox="250 391 1120 590"> <thead> <tr> <th rowspan="2">規格</th> <th colspan="3">JIS A 5372 R C 管</th> <th colspan="3">JIS A <u>5303</u> R C 管(スペーサー用ゴムを添付)</th> </tr> <tr> <th colspan="3">B型及びT型</th> <th colspan="3">C型</th> </tr> <tr> <th>呼び径 (mm)</th> <th>標準値</th> <th>良質地盤</th> <th>軟弱地盤</th> <th>標準値</th> <th>良質地盤</th> <th>軟弱地盤</th> </tr> </thead> </table> (以下省略)	規格	JIS A 5372 R C 管			JIS A <u>5303</u> R C 管(スペーサー用ゴムを添付)			B型及びT型			C型			呼び径 (mm)	標準値	良質地盤	軟弱地盤	標準値	良質地盤	軟弱地盤	12-5-7 管水路工事 (ア) 管水路(コンクリート二次製品)ジョイント間隔管理規格値 <table border="1" data-bbox="1202 391 2072 590"> <thead> <tr> <th rowspan="2">規格</th> <th colspan="3">JIS A 5372 R C 管</th> <th colspan="3">JIS A <u>5732</u> R C 管(スペーサー用ゴムを添付)</th> </tr> <tr> <th colspan="3">B型及びT型</th> <th colspan="3">C型</th> </tr> <tr> <th>呼び径 (mm)</th> <th>標準値</th> <th>良質地盤</th> <th>軟弱地盤</th> <th>標準値</th> <th>良質地盤</th> <th>軟弱地盤</th> </tr> </thead> </table> (以下省略)	規格	JIS A 5372 R C 管			JIS A <u>5732</u> R C 管(スペーサー用ゴムを添付)			B型及びT型			C型			呼び径 (mm)	標準値	良質地盤	軟弱地盤	標準値	良質地盤	軟弱地盤
規格	JIS A 5372 R C 管			JIS A <u>5303</u> R C 管(スペーサー用ゴムを添付)																																						
	B型及びT型			C型																																						
呼び径 (mm)	標準値	良質地盤	軟弱地盤	標準値	良質地盤	軟弱地盤																																				
規格	JIS A 5372 R C 管			JIS A <u>5732</u> R C 管(スペーサー用ゴムを添付)																																						
	B型及びT型			C型																																						
呼び径 (mm)	標準値	良質地盤	軟弱地盤	標準値	良質地盤	軟弱地盤																																				